Panasonic

操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 CF-H1 シリーズ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

表記とイラストについて

→ : 本書内の参照先を示しています。
: 画面で見るマニュアルを意味します。
お願い : 安全にお使いいただくための情報を記載しています。
お知らせ : お使いいただくうえで便利な情報を記載しています。
クリック : デジタイザーペンまたは指で画面をタッチすることを意味します。
右クリック : デジタイザーペンで対象に触れ続けて、デジタイザーペンの周りに円が描かれたら離してください。
デジタイザーペンのボタンを押し続けながら対象をタップする方法でも「右クリック」できます。
（スタート）- [すべてのプログラム] :
画面上の （スタート）をクリックした後、[すべてのプログラム] をクリックすることを意味します。

< クレードルと外部キーボードに接続している場合 >
: [ ] （Enter）キーを押すことを意味します。
Ctrl + **F7** : [Ctrl] キーを押しながら、[F7] キーを押すことを意味します。

Windows Vista について

コントロールパネルのクラシック表示やクラシックスタートメニューを選択することができます。また、ユーザーのログオン／ログオフのしかたを変更することもできます。本書では、クラシック表示やクラシックスタートメニューではなく、Windows Vista の初期設定を用いて説明しています。

■ ユーザーアカウント制御

ユーザーアカウント制御 は、パソコンの不正操作を防ぐ目的で新たに Windows Vista に採用されたセキュリティ機能です。パソコンで重要な操作を実行しようとすると、その都度ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

■ 「スパイウェア対策ソフトウェアを確認してください」というメッセージが表示されたら

画面右下の通知領域の をダブルクリックし、必要な設定をしてください。Windows セキュリティセンターは、パソコンを快適な状態でお使いいただくため定期的に通知を行いますが、エラーメッセージではありませんので、そのままパソコンをお使いいただけます。ただし、ウイルスなどの危険にさらされないよう、適切な対策を行うことをお勧めします。

■ Windows Update について

Windows セキュリティセンターで [自動更新] を有効に設定している場合は、セキュリティの更新など、重要な更新が自動的にインストールされます。手動で更新を行う場合（重要な更新以外の更新を行う場合など）は、以下の手順で行ってください。

① 管理者のユーザーアカウントでログオンする。

② (スタート) - [すべてのプログラム] - [Windows Update]をクリックする。

③ 画面の指示に従って更新プログラムをインストールする。

- デバイスドライバーの更新プログラムは適用しないでください。お使いのパソコンと互換性がない場合があります。詳しくは、弊社の Web ページ（http://askpc.panasonic.co.jp/security/index.html）をご覧ください。
- 再インストールした後も必ず [Windows Update] を行ってください。インストールした更新プログラムの種類により、さらに更新プログラムが提供されている場合があります。プログラムの更新後に再度 Windows Update を実行してください。

音声と動画について

- AVI ファイル形式の音声や動画を再生すると、その途中で途切れたり再生が遅れたりすることがあります。このような場合には、画面右下の通知領域の または をクリックし、[高パフォーマンス] をクリックしてください。これで問題が解消されることがあります。
- Windows の使用状況によっては、Windows の起動時に音声が途切れることがあります。起動時に音声が出ないように設定するには、次の手順を実行してください。
  ① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。
  ② [Windows スタートアップのサウンドを再生する] からチェックマークを外し、[OK] をクリックする。

■ パソコン使用中にキーンという音が聞こえる

これを改善するには、USB の省電力機能の設定を変更してください。

- 次の手順で、[USB の選択的な中断の設定] を [有効] に設定してください。
  ① （スタート）- [コントロール パネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックする。
  ② 現在の電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。
  ③ [次のプランの設定の変更] の [詳細な電源設定の変更] をクリックする。
  ④ [詳細設定] の [USB 設定] をダブルクリックする。
  ⑤ [USB の選択的な中断の設定] をダブルクリックする。
  ⑥ [バッテリ駆動] の設定を変更し、[電源に接続] を [有効] に設定する。
  ⑦ [OK] をクリックし、[詳細設定] の画面を閉じる。

デュアルタッチ

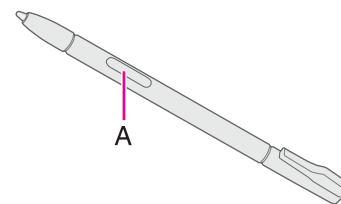
マウスを使用する感覚で、画面に触れて Windows を操作することができます。
本機には、次の 2 種類のポインティングデバイス機能があります。

- デジタイザー：デジタイザーペン（付属）を使って操作できます
- タッチパネル：指で操作できます

画面をデジタイザーペンと指で同時に触れた場合は、デジタイザーペンでの操作が有効になります。
詳しくは （スタート）- [すべてのプログラム] - [Tablet PC] - [Tablet PC タッチ トレーニング] をクリックしてください。

- **右クリックするには**

  < デジタイザーペン（付属）を使う場合 >
  次の 2 つの方法があります。
  - デジタイザーペンで対象に触れ続け、周りに円が描かれたら離す。
  - デジタイザーペンのボタン（A）を押しながら対象に触れる。

  < デジタイザーペンを使わない場合 >
  - 指で対象に触れ続け、周りに円が描かれたら離す。
  - 対象の上にカーソルを置き、[A3] ボタンを押す。< バーコードリーダー非内蔵モデルのみ >

お知らせ

- デュアルタッチによる操作はセットアップユーティリティでは使えません。
- [コマンド プロンプト]画面で入力するときは、[Tablet PC 入力パネル]をキーボード入力モードにしてください。入力パッドモードでは正しく入力できません。

デュアルタッチによる操作

● 付属のデジタイザーペンまたは指で画面に触れる

画面に触れるときは、付属のデジタイザーペンまたは指を使用してください。
付属のデジタイザーペンや指以外のもの（指の爪や金属、硬くて先のとがったもの）で画面に触れると、表面に傷跡や汚れが付いて誤動作の原因になることがあります。

● 画面に触れるときに大きな力をかけない

軽く画面に触れるだけで十分です。大きな力をかけると表面を傷つけることがあります。

画面のお手入れ

- 画面が汚れたときは、専用布でふき取る
  本機の画面は汚れがふき取りやすくなっていますので、汚れは専用布で簡単にふき取ることができます。簡単に汚れが落ちなければ、表面に息を吹きかけてからふき取ってください。
  専用布に水や溶剤を染み込ませてふき取らないでください。

- 専用布の汚れを洗い落とす
  専用布の汚れは刺激の少ない洗剤で洗濯してください。漂白剤や布地用柔軟剤（軟化剤）を使ったり、沸騰したお湯で専用布を殺菌しないでください。
  汚れた専用布を使用すると、画面に汚れが付着する原因になります。

- 画面表面のひっかき傷を防ぐため、次の項目を確認する
  - デジタイザーペンまたは指で画面操作しているか
  - 表面が汚れていないか
  - 専用布が汚れていないか
  - デジタイザーペンの先端が汚れていないか
  - 指が汚れていないか

画面に触れて操作する場合の注意事項

- 表示領域の外に触れない
  操作できる範囲は画面の表示領域内です。表示領域の外に触れると、誤動作したり傷がついたりする原因になります。

- 画面に必要以上の力をかけない
  LCD をつかんでパソコンを持ち上げないください。また、LCD の上に物を載せないでください。このような取り扱いをすると、画面のガラス面や LCD が破損することがあります。

- 気温が下がると操作時の応答速度が低下する
  パソコンを気温 5 ℃ 未満の場所で使用すると画面の応答速度が低下することがありますが、これは誤動作ではありません。パソコンが室温まで上がると応答速度は正常な状態に戻ります。

- 画面で触れた位置とは異なる位置へカーソルがジャンプしたときや、**LCD** の解像度が変更されたときは、補正（キャリブレーション）を実行する（➔ 7 ページ）

補正（キャリブレーション）

■ デジタイザーの補正

デジタイザーの補正は、デジタイザーペンを使って以下の操作を行ってください。

1 （スタート）- [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [画面の調整] - [調整] をクリックする。

2 画面上の 4 か所に“+”マークが表示されるので、順番に触れる。

3 [OK] をクリックする。

■ タッチパネルの補正

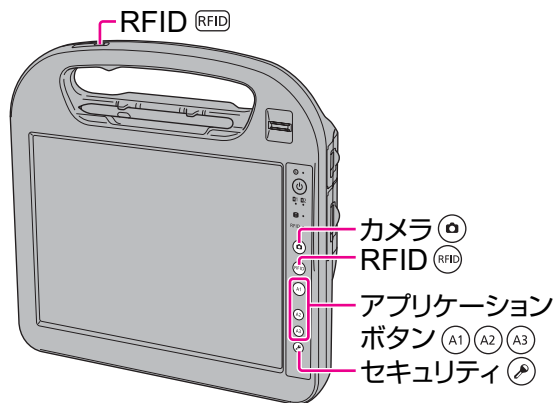
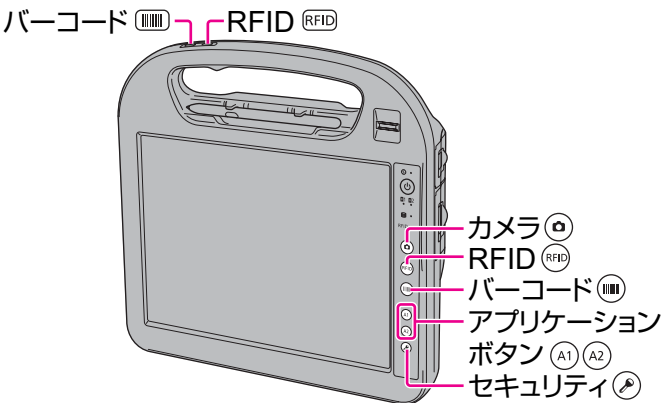
- タッチパネルの補正は、指を使って行ってください。付属のデジタイザーペンは使用しないでください。
- 画面表示を回転させて使用する場合、回転させた状態で補正を行ってください。

1 [タッチ設定] を起動する。（スタート）- [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [タッチ設定] をクリックする。

2 [調整開始] をクリックする。

3 画面上の 4 か所に順番に“ ”が表示されるので、指で点滅するまで 1 つずつ触れた後、[終了] をクリックする。

4 パソコンを再起動する。

ハードウェアボタン

<バーコードリーダー非内蔵モデル>

<バーコードリーダー内蔵モデル>

ボタン	機能
(カメラ)	**カメラボタン** 写真を撮ります。（➔ 43 ページ）
RFID RFID	**RFID リーダーボタン** RFID タグからデータを読み取ります。（➔ 44 ページ）
(バーコード) *1 (バーコード) *1	**バーコードリーダーボタン（➔ 56 ページ）** バーコードを読み取ります。
A1 A2 A3 *2	**アプリケーションボタン** 登録されている機能またはアプリケーションを起動します。（➔ 13 ページ）
(セキュリティ)	**セキュリティボタン** **Ctrl** + **Alt** + **Del** と同じ働きをします。

*1 バーコードリーダー内蔵モデルのみ
*2 バーコードリーダー非内蔵モデルのみ

お知らせ

- ハードウェアボタンは、Windows 画面が表示されているときに働きます。
- Windows が起動した直後や、Windows のログオン画面（またはようこそ画面）が表示された直後は、ハードウェアボタンが働かない場合があります。

Panasonic Dashboard

Panasonic Dashboard を使って以下の操作ができます。

- バッテリー残量の確認
- 内部 LCD 輝度の変更
- カメラ照明の設定変更
- クリーニングユーティリティ画面の色の変更
- タッチパネル操作の有効／無効の設定
- 登録されているアプリケーションソフトの起動
- クリーニングのお知らせ、RFID、タッチパネル、Panasonic Dashboard とアプリケーションボタンのボタン割り当ての設定変更

1 **アプリケーションボタン [A2]** [*1] **（A）を押す。**

以下の方法でも Panasonic Dashboard を起動することができます。

画面右下の通知領域の をクリックして [設定] をクリックする。

*1 アプリケーションボタンの設定は、変えることができます（→ 13 ページ）。

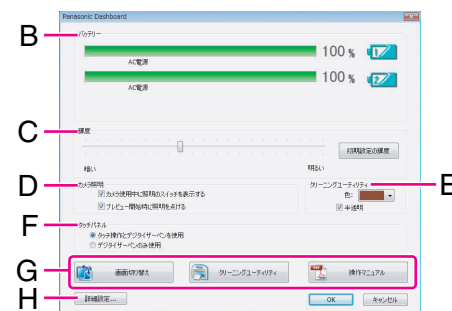
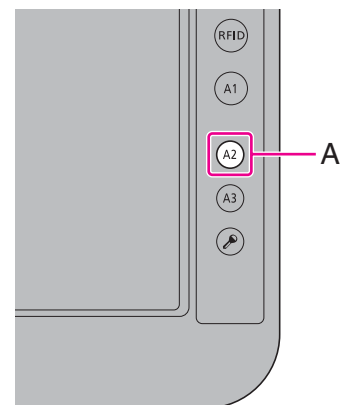
2 **操作や設定を行う。**

[バッテリー]（B）
バッテリーの残量と残り時間を確認することができます。（残り時間の表示は目安です。時間が増減することがありますが、故障ではありません。）

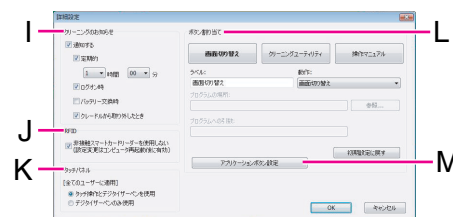
[輝度]（C）
LCD の輝度を変更することができます。
スライダーバーの任意の位置をクリックするだけで輝度を変更することができます。
バッテリー駆動の場合と、電源に接続している場合とで別々に輝度を設定することができます。

[カメラ照明]（D）

- カメラ使用中に照明のスイッチを表示させるには、[カメラ使用中に照明のスイッチを表示する] にチェックマークを付けてください。
- プレビュー開始時に照明をつけるには、[プレビュー開始時に照明を点ける] にチェックマークを付けてください。

[クリーニングユーティリティ]（E）
クリーニングユーティリティの画面の色を変更することができます。[半透明] にチェックマークが付いているときは、その色で Windows 画面が透けているように見えます。

[タッチパネル]（F）
[デジタイザーペンのみ使用] にチェックマークが付いているときは、デュアルタッチ操作にはデジタイザーペン（付属）のみ使用できます。デジタイザーペン以外を使用することはできません。本機を手のひらにのせて、デジタイザーペンで画面に触れるときに、チェックマークを付けることをお勧めします。
この設定はそれぞれのユーザーごとに適用されます。

ソフトウェアボタン（G）
あらかじめ登録されているアプリケーションソフトを起動することができます。[詳細設定] メニュー（下記）で登録されているアプリケーションソフトを変更することができます。

[詳細設定]（H）
管理者のユーザーアカウントでログオンしている場合に、[詳細設定] を選ぶことができます。
[詳細設定] メニューが表示されます。以下の設定を変更することができます。
設定した後に、[OK] をクリックして [詳細設定] メニューを閉じてください。

[クリーニングのお知らせ]（I）
クリーニングを促すメッセージが表示されるタイミングを指定します。以下のタイミングからいくつかを選択することができます。

- [定期的]
  最後にクリーニングを実行してから、指定時間が経過したとき
- [ログオン時]
  Windows にログオンしたとき
- [バッテリー交換時]
  バッテリーを交換したとき
- [クレードルから取り外したとき]
  本機をクレードルから取り外したとき

[RFID]（J）
省電力のため、非接触スマートカード読み取り機能を使わないときは、チェックマークを付けてください。
チェックマークが付いているときは、RFID ボタンを押したときだけデータを読み取ります。

[タッチパネル]（K）
[デジタイザーペンのみ使用] にチェックマークが付いているときは、デュアルタッチ操作にはデジタイザーペン（付属）のみ使用できます。デジタイザーペン以外を使用することはできません。本機を手のひらにのせて、デジタイザーペンで画面に触れるときに、チェックマークを付けることをお勧めします。
この設定はすべてのユーザーに適用されます。

[ボタン割り当て]（L）
Panasonic Dashboard 画面に表示されているボタンに、実行可能なファイルまたはアプリケーションソフトを登録することができます。
① いずれかのボタンをクリックする。
② [動作] から動作を選択する。
[画面切り替え]、[クリーニングユーティリティ]、[操作マニュアル]、[アプリケーションを起動する] の中から選択することができます。工場出荷時の設定に戻す場合は、[初期設定に戻す] をクリックしてください。
[アプリケーションを起動する] を選択したときは、[ラベル] にボタンに表示される名称を入力し、「プログラムの場所」に実行したいファイルを指定してください。
- 「.exe」の他に「.pdf」「.jpeg」「.wma」などの拡張子が付いたファイルを選択することができます。
- 「.exe」の拡張子が付いたファイルを選択したときは、[プログラムへの引数] にパラメーターを指定することができます。
- アプリケーションを無効にする場合は、テキストボックスを空白にしてください。

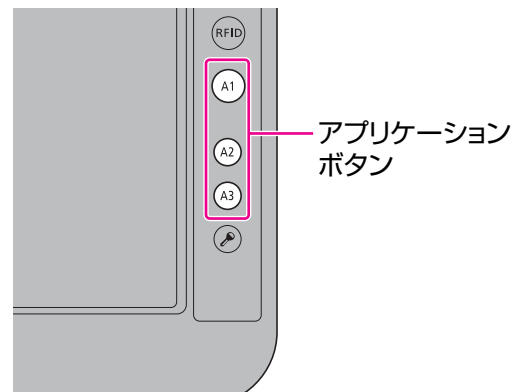
[アプリケーションボタン設定]（M）
「アプリケーションボタン設定」（➔ 13 ページ）

3 **[OK] をクリックし、Panasonic Dashboard 画面を閉じる。**

アプリケーションボタン設定

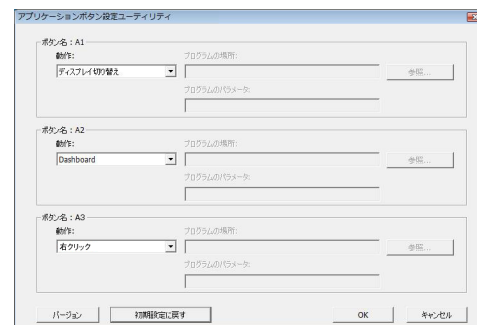
アプリケーションボタンに、お気に入りのアプリケーションの起動機能を割り当てることができます。

1 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [アプリケーションボタン設定] をクリックする。**
Panasonic Dashboard からもアプリケーションボタン設定ユーティリティを起動することができます。

2 **設定する。**
アプリケーションの実行ファイルを登録することができます。

お知らせ

- < バーコードリーダー内蔵モデル >
  [アプリケーションボタン設定ユーティリティ] の画面に [A3] ボタンは表示されません。

1 **各ボタンの [動作] から動作を選択する。**
[< なし >]、[Dashboard]、[ディスプレイ切り替え]、[右クリック]、[クリーニングユーティリティ]、[操作マニュアル] または [アプリケーションを起動する] の中から選択することができます。工場出荷時の設定に戻す場合は、[初期設定に戻す] をクリックしてください。
[アプリケーションを起動する] を選択しているときは、[プログラムの場所] に実行したいファイルを指定してください。

- 「.exe」の他に「.pdf」「.jpeg」「.wma」などの拡張子が付いたファイルを選択することができます。
- 「.exe」の拡張子が付いたファイルを選択したときは、[プログラムのパラメータ] にパラメーターを明記することができます。
- アプリケーションを無効にする場合は、[< なし >] を選択してください。

< バーコードリーダー非内蔵モデル >

2 **[OK] をクリックする。**

< バーコードリーダー内蔵モデル >

Panasonic 手書き

画面にサインなどの簡単な文字や図形を描いて、ビットマップ形式（.bmp）のファイルとして保存することができます。

お願い

- 「Panasonic 手書き」を起動しているときは、ユーザーの簡易切り替え機能を使わないでください。
- 市販のポインティングデバイスのドライバーをインストールして、マウスのドライバーを上書きすると、「Panasonic 手書き」は動作しなくなります。

お知らせ

- 画面の色数を変更すると、「Panasonic 手書き」の画面が乱れることがあります。その場合は、画面右下の通知領域の を右クリックして [Panasonic 手書きの終了] をクリックした後、再度「Panasonic 手書き」を起動してください。
- 他のアプリケーションソフトを同時に実行していると、「Panasonic 手書き」で正しく描画できないことがあります。その場合は、他のアプリケーションソフトを閉じてください。

「Panasonic 手書き」を起動する

1　画面右下の通知領域の をダブルクリックする。

または、 （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Panasonic 手書き] をクリックする。

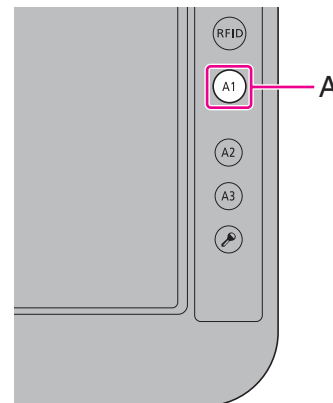
お知らせ

- 画像サイズの変更は、描画する前に[オプション] - [画面サイズの設定]で行ってください。描画した後でサイズを変更すると、画質が悪くなります。
- [編集] - [コピー] をクリックすると、ビットマップ画像をコピーして、他のビットマップ形式対応のアプリケーションソフトに貼り付けることができます。

画面を回転させる

1 **[A1] ボタン（A）を押す。**

ボタンを押すたびに、時計回りに 90°回転します。
本機をクレードルに取り付けて使用している場合は、[A1] ボタンを押しても画面は回転しません。どうしてもクレードルに取り付けたまま画面を回転させたいときは、次の方法で行ってください。

① 画面右下の通知領域の をクリックし、回転したい方向をクリックする。

お知らせ

- 次の方法でも画面を回転させることができます。
  （スタート）- [コントロールパネル] - [モバイル コンピュータ] - [画面の向きの変更] をクリックする。
- 画面を回転させているとき：
  - 拡張デスクトップを使わないでください。デュアルタッチが正しく操作できないことがあります。
  - 画面の解像度を内部 LCD の解像度より高く設定しないでください。
  - パソコンの動作速度が少し落ちます。
- 画面を回転させていると、動画が正しく表示されなかったり、音声が途切れたりすることがあります。画面角度を [横（プライマリ）] に戻してください。
- Windows を起動しログオンしてすぐに画面を回転させると、約 1 分以内に画面が以前の状態に戻ることがあります。その場合は、再度画面の回転を行ってください。
- 画面を回転させた状態でクレードルに取り付けると、画面は「横（プライマリ）」（または、前回クレードルを取り付けたときに回転させた方向）に自動で切り替わります。
  クレードルを取り外したときは、クレードルを取り付ける前の回転角度に切り替わります。

スリープ・休止状態

パソコンをすばやく起動する

「スリープ」や「休止状態」機能を使うと、アプリケーションソフトやファイルを閉じることなくパソコンの操作を終わることができます。操作を再開すると、スリープまたは休止状態に入る前に実行していたアプリケーションソフトやファイルにすばやく戻ることができます。

機能	状態の保存先	復帰するまでの時間	電力供給	電源状態表示ランプ
スリープ	メモリー	短い	必要 （ハードディスクに保存する前に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）	点滅
休止状態	ハードディスク	やや長い	不要 （ただし、休止状態を維持するために若干の電力が消費されます。）	消灯

使用上のお願い

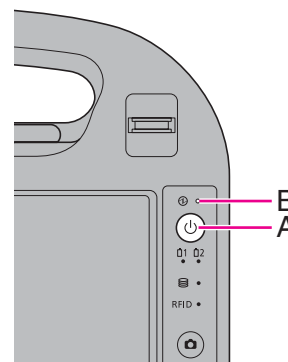
- 長時間スリープ状態にしておく場合は、AC アダプターを接続してください。AC アダプターを接続できない場合は、スリープ状態ではなく休止状態にしてください。
- スリープまたは休止状態を繰り返すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1 週間に 1 回程度）スリープまたは休止状態を使わずに Windows を再起動してください。
- 大切なデータは保存してください。
- リムーバブルディスクやネットワークドライブから開いたファイルは閉じてください。
- 休止状態に入るまでに 1 ～ 2 分かかる場合があります。画面が暗くなりますが、いずれのキーにも触れないでください。
- リジュームの際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。スリープまたは休止状態のときのセキュリティには、Windows のパスワードをお使いください。初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。
- 下記の場合は、スリープ・休止状態に入らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、スリープ・休止状態が働かなくなったり、パソコンおよび周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。
  - ハードディスクドライブ状態表示ランプ と RFID 状態表示ランプの点灯中
  - オーディオファイルの録音・再生中や、MPEG ファイルなどの動画の再生中
  - 通信ソフトウェアやネットワーク機能を使用してデータ通信をしているとき
  - 周辺機器の使用中
（周辺機器が正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）

スリープ・休止状態に入る／リジュームする

■ スリープ・休止状態に入る

1　ビープ音[*1] が鳴るまで電源スイッチ（A）を押す。

スリープ：電源状態表示ランプ（B）が緑色に点滅する。
休止状態：電源状態表示ランプ（B）が消える。

- または、（スタート）- をクリックし、[スリープ] または [休止状態] をクリックする。

お願い

- ビープ音[*1]が鳴ったら、すぐに電源スイッチを離してください。手を離してから、電源状態表示ランプが点滅または消灯するまで電源スイッチを操作しないでください。電源スイッチを4秒以上押すと、パソコンが強制終了し、[電源ボタンを押したときの動作] を [電源ボタンの動作の選択] のいずれかの項目に設定していたとしても、保存されていないデータは失われます。
- スリープ・休止状態処理中は次の操作をしないでください。
  - 画面、ハードウェアボタン、電源スイッチに触れる
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - AC アダプターの接続や取り外し
  - クレードルへの取り付け／取り外し

  電源状態表示ランプが緑に点滅（スリープ）または消灯（休止状態）するまでお待ちください。
- スリープ・休止状態に入るまでに 1 ～ 2 分かかる場合があります。

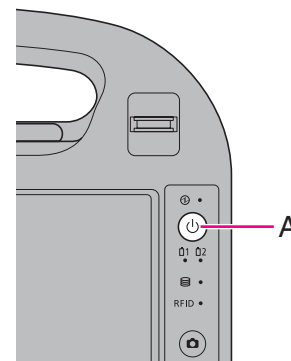
スリープ・休止状態のとき

- 周辺機器（クレードルを含む）の接続・取り外しを行わないでください。誤動作の原因になります。
- スリープ状態では電力が消費されています。電力の供給がなくなると、メモリーに保持されていたデータが失われます。スリープに入るときは、AC アダプターを接続してください。

[*1] 場合によっては、ビープ音が鳴らないことがあります。

■ スリープまたは休止状態からリジュームする

1 **電源スイッチ（A）を押す。**

- 初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。

お願い

- リジュームが完了するまで、下記の操作をしないでください。画面表示のリジューム後、約 15 秒（通常）または 1 分（ネットワーク接続しているとき）お待ちください。
  - 画面、ハードウェアボタン、電源スイッチに触れる
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - AC アダプターの接続や取り外し
  - Windows の終了または再起動
  - スリープまたは休止状態に入る（約 1 分間お待ちください）
  - クレードルへの取り付け／取り外し
- クレードルに外部キーボードやマウスを接続した状態で、パソコンがスリープ状態に入ったとき、外部キーボードのキーまたはマウスに触れると、パソコンはリジュームします。

お知らせ

- スリープ・休止状態からリジュームしたとき、「TosBtMng は動作を停止しました」のメッセージが表示される場合があります。
  [プログラムの終了] をクリックしてください。
  Bluetooth 接続が切れたときは、（スタート）- [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetooth 設定] をクリックしてから、接続し直してください。

スリープ・休止状態の設定

■ スリープ状態

1 **画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。**

2 **変更したい電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。**

3 **[コンピュータをスリープ状態にする] の設定内容を変更し、[変更の保存] をクリックする。**
- スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間も変更される場合があります。休止状態に移行する時間を確認してください（下記）。工場出荷時の設定（1080 分）よりも短く設定しないようにしてください。

■ 休止状態

1 **「スリープ状態」の手順 2（上記）を実行してから、[詳細な電源設定の変更] をクリックする。**

2 **[スリープ] - [次の時間が経過後休止状態にする] をダブルクリックする。**

3 **項目を選択して設定内容を変更する。**

4 **[OK] をクリックする。**

消費電力を節約する

以下の設定を行うと省電力の効果があります。バッテリーで使用する場合は、より長時間使えるようになります。

無駄な電力を使わない

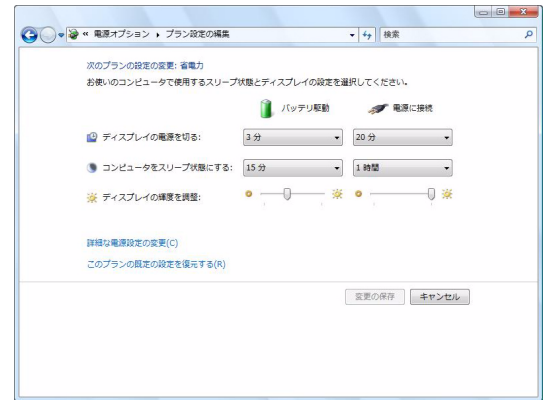
以下の方法で消費電力を節約することができます。

- **[電源オプション] を変更する**
  (スタート) - [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックして [省電力] を選択します。
  工場出荷時は [パナソニックの電源管理] に設定されていますが、[省電力] に変更することでさらに消費電力が節約できます。
  さらに、[ディスプレイの電源を切る] で設定されている時間を短くするなど、使用状況に応じて詳細に設定してください。

- **Panasonic Dashboard を使って内部 LCD の輝度を暗くする**
  内部 LCD の輝度を下げることで、消費電力を抑えます。

- **使わないときは本機の電源を切る**
  無線 LAN、ワイヤレス WAN（ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ）または Bluetooth の電源を個別に切ることもできます。

- **使わない周辺機器（USB 機器、外部マウスなど）は取り外す**

- **スリープ・休止状態を活用する**
  パソコンからしばらくの間離れるときは、スリープ状態または休止状態にしてください。パソコンの動作が停止し、消費電力を抑えることができます。

セキュリティ機能

大切なデータを守るために、セキュリティ機能を使うことをお勧めします。

- 他のセキュリティ機能については下記をご覧ください。
  - 内蔵セキュリティ（TPM）（➔ 98 ページ）：詳しくは 『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードを設定する前に、スーパーバイザーパスワードを設定してください。

準備

- パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードをクレードルに接続してください。

1 **セットアップユーティリティを起動する（➔ 93 ページ）。**

2 **「セキュリティ」を選ぶ。**

3 **「スーパーバイザーパスワード設定」または「ユーザーパスワード保護」-「保護する」を選び、↵ を押す。**

4 **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、↵ を押す。**
- パスワードがすでに設定されている場合は、「現在のパスワードを入力してください」にパスワードを入力して ↵ を押してください。
- パスワードを無効にする場合は、入力欄を空欄にして ↵ を押してください。

5 **「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、↵ を押す。**

6 **F10 を押し、「はい」を選んで ↵ を押す。**

お願い

- パスワードを忘れないようにしてください。スーパーバイザーパスワードを忘れると、パソコンを使用できなくなる可能性があります。その場合はご相談窓口にご相談ください。
- セットアップユーティリティを起動しているときは、他の人にパスワードを設定・変更されないようにパソコンから離れないでください。

お知らせ

- パスワードは画面に表示されません。
- 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大 32 文字です。
  - 大文字、小文字は区別されません。
  - テンキーによる数字の入力はできません。
  - パスワードの入力に **Shift** と **Ctrl** は使用できません。
- スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

パソコンを無断で使用されたくないとき

起動時のパスワードを設定することにより、他の人の無断使用からパソコンを守ることができます。

1 **パスワードを設定し（➔ 22 ページ）、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定する。（➔ 98 ページ）**

お知らせ

- パスワードを入力するには、パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードをクレードルに接続しておく必要があります。
- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されていると、「起動時のパスワード」が「無効」であっても、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されます。

ハードディスク内のデータを読み書きされたくないとき

ハードディスクを別のパソコンに取り付けたときに、ハードディスクのデータを読み書きされないようにします。ハードディスクを元のパソコンに戻すと、データの読み書きができます。

1 **セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、「ハードディスク保護」を「有効」に設定する。（➔ 98 ページ）**

お願い

- 元のパソコンでデータの読み書きをするには、セットアップユーティリティの設定を、ハードディスクを取り外す前と同じにしてください。
- スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ハードディスク保護機能は使えません。あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください（➔ 22 ページ）。
- ハードディスクの修理を依頼する際は：
  - 当社ご相談窓口にご相談ください。
  - 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスク保護機能は、内蔵ハードディスクにのみ働きます。外付けのハードディスクには働きません。
- ハードディスク保護はデータの完全な保護を保証するものではありません。

バッテリー状態表示ランプ

本機には 2 個のバッテリーパックを取り付けられます。
それぞれにバッテリー状態表示ランプがあります。
A：バッテリー 1
B：バッテリー 2

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。 • バッテリー残量は、Panasonic Dashboard を使って確認できます。（➔ 10 ページ）
オレンジ色点灯	バッテリーの充電中です。
緑色点灯	バッテリーの充電完了です。
緑色点滅	**バッテリーパックが入った状態でバッテリーカバーを閉じたときは：** 点滅の回数でバッテリー残量がわかります。 （下表参照） **上記以外のときは：** 高温モード時に、バッテリー残量が常温モード時の約 80%[*1] になるまで放電しています（➔ 28 ページ）。この場合は、AC アダプターを接続していても、バッテリーパックを取り外さないでください。取り外すと電源が切れて、データを消失するおそれがあります。 [*1] 高温モード時におけるバッテリー残量 100% は、常温モード時の 80% と同等です。
赤色点灯	バッテリー残量が、約 9% 以下になっています。

点滅回数	バッテリーの充電状態
5 回	95 % 〜 100 %
4 回	50 % 〜 94 %
3 回	25 % 〜 49 %
2 回	5 % 〜 24 %
1 回	0 % 〜 4 %

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
赤色点滅	**約 1 秒間隔で点滅している場合：** バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。 **約 4 秒間隔で点滅している場合：** バッテリーカバーが開いています。 この場合は、バッテリーパックを取り外すことができます。 **約 0.5 秒間隔で点滅している場合：** バッテリーカバーが開いています。 この場合、バッテリーパックを取り外すと、電源供給が絶たれて、パソコンの電源が切れてしまいます。すぐにバッテリーカバーを閉じてください。
オレンジ色点滅	以下の理由で、バッテリーは一時的に充電できない状態です。 • 内部の温度が充電可能範囲外になっている。 • 消費電力量の多いアプリケーションソフトまたは周辺機器を起動しているため、充電するための電力が不足している。

お知らせ

- 過充電を防ぐため、いったんバッテリーが満充電になると、バッテリー残量が約 95% 未満になるまで再充電されません。

バッテリー残量を確認する

バッテリー残量を画面上で確認できます。

（Windows にログオンした後）

1 Panasonic Dashboard を起動する。

- バッテリーパック装着時（例）

	常温モード時（➔ 28 ページ）	高温モード時（➔ 28 ページ）
充電中	バッテリー 100 % AC電源 100 % AC電源	バッテリー 100 % AC電源 100 % AC電源
使用中 （枠囲みされているバッテリーパックが使用中です。）	バッテリー 99 % 残り 99%（放電中） 100 % 残り 100%	バッテリー 99 % 残り 99%（放電中） 100 % 残り 100%

- バッテリーパック未装着時

常温モード時（➔ 28 ページ）	高温モード時（➔ 28 ページ）
バッテリー -- % 未挿入 -- % 未挿入	バッテリー -- % 未挿入 -- % 未挿入

お知らせ

- 次のような場合、表示されるバッテリー残量と実際のバッテリー残量が合わないことがあります。正しく表示させるにはバッテリー残量表示補正（➔ 30 ページ）を行ってください。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、「99%」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
    AC アダプターから電力の供給がないまま長時間スリープ状態にしていると、このような状態になる場合があります。
- バッテリーの残量表示が画面右下の通知領域の表示と異なる場合がありますが、故障ではありません。
- バッテリーでの動作時に表示される残り時間は目安です。時間が増減することがありますが、故障ではありません。

高温モード

パソコンを高温環境下で使用したり、満充電の状態で長時間使用したりするときは、高温モードにするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「環境」を「自動」（工場出荷時の設定）または「高温」にしてください。（➔ 95 ページ）

お知らせ

- 高温モード時におけるバッテリー残量 100% は、常温モード時のバッテリー残量 80% と同等です。
- 「常温」から「高温」またはその逆に切り替えると、バッテリーがいったん完全に充電または放電されるまで、バッテリー残量が正しく表示されません。
- 「自動」モード：
  いったん常温モードから高温モードへ自動的に切り替わると、バッテリーの劣化を防ぐために、切り替え後の充放電量の合計が満充電量の約 5 倍になるまで常温モードに切り替わりません。
  「自動」モードのとき、「常温」と「高温」が切り替わるのは動作中のバッテリーのみです。他方のバッテリーは切り替わりません。

バッテリー残量が少なくなったときの動作

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

- 使用中のバッテリー（バッテリー 1 またはバッテリー 2）の残量が 10% 未満になると、自動的にもう一方のバッテリーに切り替わります。両方のバッテリー残量が少ない場合は、以下のような動作になります。

バッテリー残量が10% になったら [バッテリー低下アラーム]	バッテリー残量が5% になったら [バッテリー切れアラーム]
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓	● パソコンは休止状態に入ります。 ↓
充電が必要です	AC アダプターを接続するか、バッテリーパックを交換して、パソコンを起動してください
● AC アダプターをすぐに接続してください。AC アダプターがない場合は動作中のプログラムを終了し、パソコンの電源を切ってから電源状態表示ランプが消灯したことを確認してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。	● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、バッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。 バッテリーが充電されるかバッテリーを交換するまでは休止状態からリジュームしないでください。

バッテリー容量を正確に表示させる（バッテリー残量表示補正）

バッテリー残量表示補正機能を使うと、バッテリー容量を計測し記憶させることができます。バッテリー残量を正確に表示させるために、この機能を使っていったん満充電にしてから完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後すぐに、少なくとも一度は行ってください。バッテリー残量表示補正は、通常 3 か月置きに実施してください。長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合もこの操作を行ってください。

1　AC アダプターを接続する。

2　すべてのアプリケーションソフトを終了する。

3　バッテリー残量表示補正を実行する。

① （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ] をクリックする。

② 確認メッセージが表示されたら、[開始] をクリックする。

- バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーが劣化する原因になります。前回補正してから約 1 か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。その場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ [完全放電には約 2 時間かかります。] のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了すると、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量表示補正が終了すると、通常の充電が始まります。

お知らせ

- 10 ℃ ～ 30 ℃の温度環境で実行してください。低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：両バッテリーで最大約 7 時間
  - 完全放電にかかる時間：両バッテリーで約 4 時間
- バッテリー残量表示補正実行中にパソコンの電源を切ると（停電や、誤って AC アダプターまたはバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリー残量表示は補正されません。
- バッテリー残量表示補正は、次の手順でも実行できます。

  ① パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードをクレードルに接続する。
  ② パソコンを再起動する。
  ③ パソコンの起動後すぐ、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に F9 を押す。
  ④ バッテリー残量が表示されたら ↵ を押す。
  ⑤ 画面の指示に従って操作を行う。

バッテリーパックを交換する

バッテリーチャージャー（別売り）をお持ちの場合は、どちらかのバッテリーを使用している間に、もう一方のバッテリーパックを取り外すことができます。
バッテリーパックは消耗品のため、交換が必要になります。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、バッテリー残量表示補正を実行した後でも性能が回復しない場合は、新しいものと交換してください。

お願い

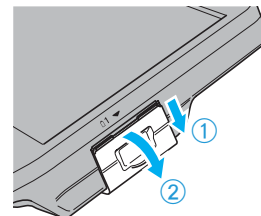
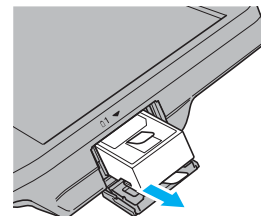
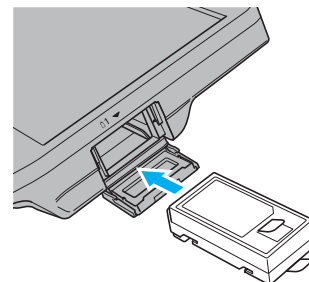
- バッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。初めてお使いになる前に必ず充電してください。AC アダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- 必ず本機専用のバッテリーパックを使用してください。

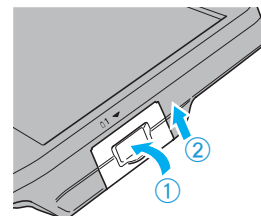
交換／取り外しができるバッテリーパックをチェックする

下記の表をご覧になり、バッテリーパックの交換／取り外しを正しく行ってください。誤ってパソコンを終了してしまうと、データの消失やパソコンの故障の原因になります。

電源オンまたはスリープ・休止状態のとき	AC アダプターを接続していない場合	**片方のバッテリーパックのみ交換／取り外しできます。** バッテリーカバーを開いたときに、バッテリー状態表示ランプが赤色に点滅します。 • 点滅が 4 秒間隔のとき：**取り外しできます。** • 点滅が 0.5 秒間隔のとき：**取り外しできません。**
	AC アダプターを接続している場合	**両バッテリーパックとも交換／取り外しできます。**
電源オフのとき		**両バッテリーパックとも交換／取り外しできます。**

1 バッテリーカバーを開く。

① バッテリーカバーをスライドする。
② カバーを開く。
- バッテリー状態表示ランプの赤色点滅を確認してください。
（➔ 31 ページ）

2 タブを引いてバッテリーパックを取り出す。

3 コネクターにぴったりはまるまで、右図の向きに新しいバッテリーパックを入れる。

4 バッテリーカバーを閉じる。

① バッテリーカバーを閉じる。
② カチッと音がするまでバッテリーカバーをスライドする。
- バッテリー状態表示ランプが点滅しないことを確認してください。

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にバッテリーパックが落ちないよう、バッテリーカバーが正しくロックされていることを確認してください。

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先

- 最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
  詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp （2009 年 2 月現在）

自動表示機能を有効にする

初めて Windows にログオンした場合、画面右下に PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定するための画面が表示されます。次の手順を行ってください。

1 **[Panasonic からのお知らせが1件あります]をクリックする。**

2 **確認の画面で[はい]をクリックする。**
バッテリーに関する情報の自動表示機能が有効になります。
以降、定期的にバッテリーに関する情報があるかチェックします。

お知らせ

- 確認の画面で[いいえ]または[キャンセル]をクリックした場合
  - [いいえ]をクリックした場合
    以降、確認の画面が表示されなくなります。PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするには、「設定を変更する」（➔37ページ）をご覧になり、設定してください。
  - [キャンセル]をクリックした場合
    次回Windowsにログオンしたときに、再度確認の画面が表示されます。
- PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするための確認画面は、新しく作成したユーザーアカウントで初めてWindowsにログオンした場合も表示されます。

バッテリーに関する情報を確認する

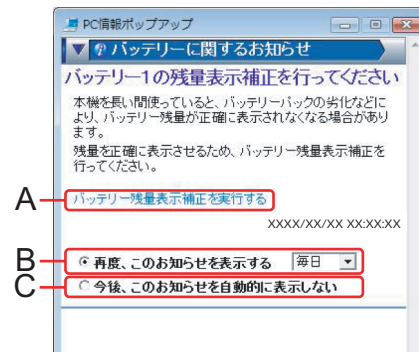
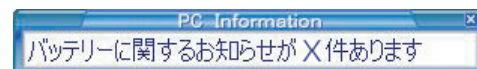
PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、画面右下に次の場合に [バッテリーに関するお知らせが X 件あります] という小ポップアップ画面が表示されます。
バッテリーパックの状態は定期的に確認されるため、該当の状態になったときに必ずバッテリーに関する情報が表示されるものではありません。

- **バッテリー残量表示補正に関するお知らせ**
  バッテリーパックの使用開始日、または前回のバッテリー残量表示補正から 180 日以上経過している場合
- **バッテリーパックの消耗に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 31% ～ 50% の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）
- **バッテリーパックの交換に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 30% 以下の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）

小ポップアップ画面が右下に表示された場合は、次の手順でバッテリーに関する情報を確認してください。

1 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります]をクリックする。**

2 **詳細を確認する。**
A. バッテリー残量表示補正を行う方がよい場合に表示されます。クリックすると、[バッテリー残量表示補正ユーティリティ] が起動します。
B. クリックすると、再度自動的にお知らせを表示します。[▼] をクリックすると、再度自動的にお知らせするまでの間隔を設定できます。
C. クリックすると、お知らせが自動的に表示されなくなります。

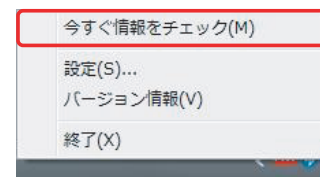
3 をクリックし、ウィンドウを閉じる。

（画面は一例です）

お知らせ

- 満充電容量は次の方法で確認することができます。
  現在の満充電容量を確認する。
  ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [バッテリー使用状況]をクリックする。
  ③ バッテリー 1、またはバッテリー 2の[満充電容量]の値を確認する。

  購入時の満充電容量を確認する。
  ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ② [SMBIOSデータ] をクリックする。
  ③ [Portable Battery] をクリックする。
  ④ [Portable Battery 1] をクリック、または [Portable Battery 2] をクリックする。
  ⑤ [Design Capacity] の値を確認する。
  以下の場合には、値が正しく表示されないことがあります。その場合はパソコンを再起動した後確認してください。
  - セットアップユーティリティで「環境」の設定を変更した場合
  - バッテリーパックがセットされていない状態でパソコンを起動した場合
  - 起動後にバッテリーパックを入れ替えた場合
- バッテリー容量を計測し、記憶／学習するためにバッテリー残量表示補正を行ってください。
  バッテリー残量表示補正を行わないと、バッテリーパックの消耗や交換に関するお知らせが表示されない場合があります。
- バッテリー残量表示補正を行った場合、次回ログオン時にバッテリーに関する情報の確認を行います（「お知らせの設定」画面で [自動チェックする]にチェックマークを付けている項目のみ）。
- 「バッテリー残量表示補正を行ってください」というお知らせと同時に、そのバッテリーパックに対して「バッテリーパックが消耗しています」、「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合は、正確なバッテリー容量を得るために、バッテリー残量表示補正を行ってください。
- バッテリー残量表示補正は、周囲の温度が10℃～30℃の場所で行ってください。
  低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- 「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合は、該当するバッテリーパックを交換してください。交換方法については、「バッテリーパックを交換する」（➔31ページ）をご覧ください。

小ポップアップ画面が表示されていないときにバッテリーパックに関するお知らせを確認する

1 **画面右下の通知領域の または を右クリックし、[今すぐ情報をチェック]をクリックする。**
小ポップアップ画面が表示されます。
お知らせする情報がない場合は、「お知らせはありません」という画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

2 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります] をクリックする。**
画面右下に表示されます。

3 **詳細を確認する。**

設定を変更する

お知らせの表示条件を変更したり、情報を表示する機能を無効にしたりすることができます。

1 **画面右下の通知領域の または を右クリックし、[設定] をクリックする。**

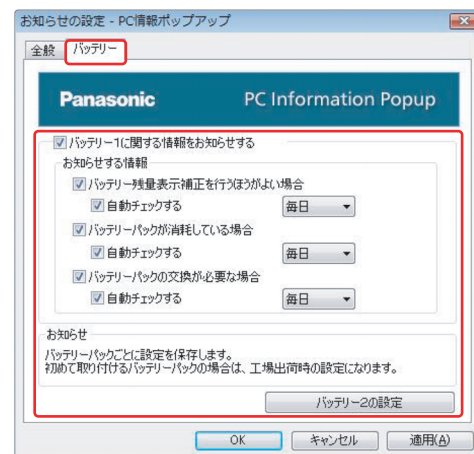
2 **[全般]または[バッテリー] タブを選び、設定を変更したい項目をクリックし、必要な項目を設定する。**

3 **設定が終わったら [OK] をクリックする。**

- [全般]
すべてのチェックマークを外すと、お知らせする情報があっても小ポップアップ画面は表示されず、画面右下の通知領域の が に変わるだけになります。
  - [小ポップアップによる通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に小ポップアップ画面を表示します。
  チェックマークを外しても、情報を手動で確認したときにお知らせがある場合は、小ポップアップ画面が表示されます。

- [自動的に消す]
  小ポップアップ画面が表示されてから消えるまでの時間を設定します。
- [アイコンの点滅による通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に画面右下の通知領域の PC 情報ポップアップアイコンが点滅します。
- [効果音による通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に効果音が鳴ります。

● [バッテリー]
バッテリーに関する情報の表示の設定を行います。

- [バッテリー 1に関する情報をお知らせする]
  チェックマークを付けると、バッテリー 1に関する情報が表示されます。
  チェックマークを外すと、バッテリー 1に関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔39ページ）をご参照ください。
- [お知らせする情報]
  各項目をクリックしてチェックマークを外す／付けると、バッテリー 1 に関する情報の表示条件が変更されます。工場出荷時はすべての項目にチェックマークが付いています。
- [自動チェックする]
  チェックマークを付けると、定期的にバッテリー 1 に関する情報があるか自動的にチェックします。
  チェックマークを外すと、[今すぐ情報をチェック] をクリックした場合のみ情報をチェックします。
  [▼] をクリックすると、自動的に情報をチェックする間隔を変更することができます。工場出荷時は [毎日] に設定されています。
- [バッテリー 2の設定]
  バッテリー 2に関する情報の表示の設定を行います。

お知らせ

● [バッテリー 1に関する情報をお知らせする] のチェックマークと [バッテリ2に関する情報をお知らせする] のチェックマークの両方を外すと、バッテリー 1およびバッテリー 2に関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（下記）をご参照ください。

● バッテリーに関するお知らせの設定内容はバッテリーパックごとに保存されます。
バッテリーパックを取り外している場合は、すべて無効の状態になり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、下記の「お知らせ」をご参照ください。

- 初めて取り付けるバッテリーパックの[自動チェックする]の設定について
  [自動チェックする]にチェックマークが付くかどうかは、PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするかどうかの確認画面（「自動表示機能を有効にする」（➔34ページ）の手順**2**の画面）で設定した内容がそのまま反映されます。
  この画面で[はい]を選択していた場合は、初めて取り付けるバッテリーパックにも[自動チェックする]にチェックマークが付き、チェックする間隔は工場出荷時の設定（毎日）に設定されます。
  必要に応じて変更してください。

アイコンについて

PC 情報ポップアップは、Windows を起動すると自動的に起動し、画面右下の通知領域に表示されるアイコンで各情報を確認することができます。

通常は が表示されています。
が表示された場合は、以下の表をご覧ください。

アイコン	状態
	表示する情報があります。 クリックすると、小ポップアップ画面が表示されます。

お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、バッテリーパックをセットして、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ポップアップ] をクリックしてください。
  情報を表示するには、「設定を変更する」（➔37ページ）をご覧になり、[バッテリー 1に関する情報をお知らせする] または [バッテリー 2に関する情報をお知らせする] にチェックマークを付けてください。

電源設定をカスタマイズする

電源プランを選定して、操作環境に最も適した電源設定を選択できます。ユーザー固有の電源プランを作成することもできます。

電源プランの設定を変更する

1 **画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。**

2 **変更したい電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。**

3 **設定を変更する。**
- [詳細な電源設定の変更]：より詳細な設定をすることができます。

4 **[変更の保存] をクリックする。**

ユーザー固有の電源プランを作成する

1 **画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。**

2 **[電源プランの作成] をクリックし、プラン名の入力欄をクリックして、作成する電源プランの名前を入力する。**

3 **[次へ] をクリックする。**

4 **各項目を設定し、[作成] をクリックする。**
- 設定内容の変更、またはより詳細な設定をするには、上記の「電源プランの設定を変更する」をご参照ください。

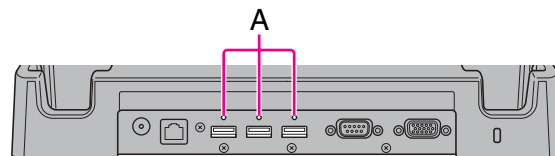
電源プランを削除する

1. 画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。
2. 削除する電源プランとは異なる電源プランをクリックする。
3. 削除したい電源プランの下に表示された [プラン設定の変更] をクリックする。
4. [このプランを削除] をクリックし、確認画面で [OK] をクリックする。

USB 機器の取り付け／取り外し

USB 機器をクレードルの USB ポートに接続することができます。
USB 機器を使用する場合は、クレードルの電源端子に本機の専用 AC アダプターを接続してください。

■ USB 機器を取り付ける

1 USB 機器を USB ポートに接続する。
このクレードル専用のケーブルを使用する場合は、（A）の位置にネジ留めできます。

< クレードルの後面 >

■ USB 機器を取り外す

1 USB 機器の停止処理を行う。

① 画面右下の通知領域の をクリックし、USB 機器を選択して [OK] をクリックする。
- 次の場合は、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - が表示されていないとき
  - 手順 ① で、取り外す機器が一覧にないとき

2 USB 機器を取り外す。

お知らせ

- USB 機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくは画面の表示または USB 機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB 機器を別の USB ポートに接続し直すときは、ドライバーのインストールが再度必要になる場合があります。
- 外部キーボードやマウスを接続した状態でパソコンがスリープ状態に入ったとき、外部キーボードのキーか、またはマウスに触れても、パソコンはリジュームしません。
- USB 機器が接続されていると、スリープや休止状態に正常に入れない場合があります。パソコンが正常に起動しない場合は、USB 機器を取り外し、パソコンを再起動してください。
- パソコンのスイッチを入れたまま USB 機器を抜き挿しすると、 がデバイスマネージャに表示され、機器が正しく認識されないことがあります。その場合は、機器を再度抜き挿しするか、パソコンを再起動してください。
- USB 機器が接続されていると、電力消費量が増加します。

カメラ

写真を撮ることができます。

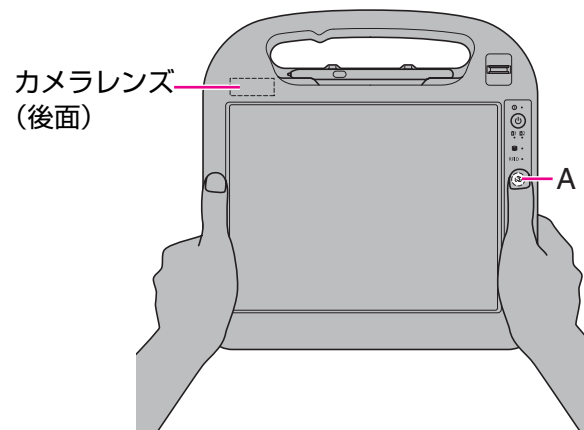
1 **パソコンの側面を持ってカメラを向けてください。**

2 **カメラボタン（A）を押してカメラを起動させる。**
プレビューウィンドウを表示します。

3 **カメラボタン（A）を押して写真を撮る。**
ウィンドウに画像が表示されます。
続けて写真を撮る場合は、カメラボタン（A）を押してプレビューウィンドウを表示させて、もう一度カメラボタン（A）を押して写真を撮ってください。

4 **写真を操作する**
写真を 2 枚以上撮った場合は、スクロールバーで写真を選んで以下の操作を行ってください。

- 画像を保存する
  ① [保存] をクリックし、保存場所を指定し、ファイル名を付けて [保存] をクリックする。
- クリップボードに画像をコピーする
  ① [クリップボードにコピー] をクリックする。
- 画像を削除する
  ① [削除] をクリックし、[はい] をクリックする。

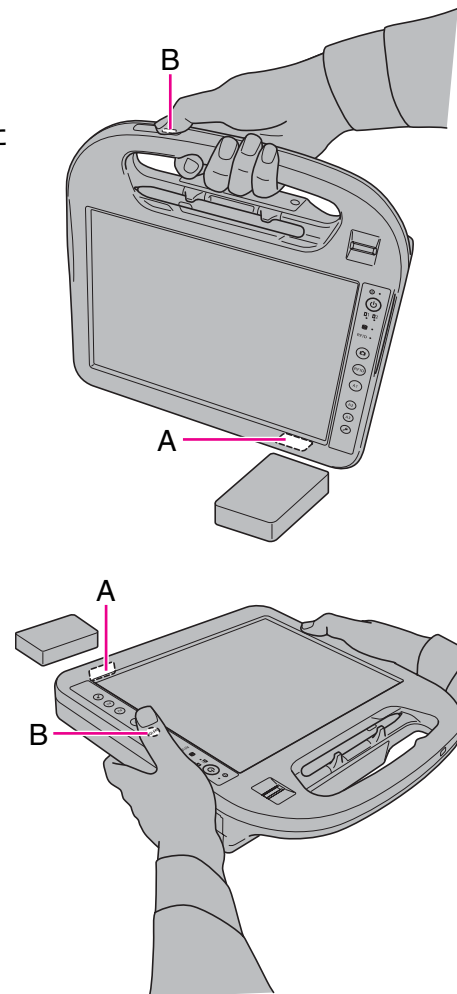
5 **[閉じる] をクリックし、ウィンドウを閉じる。**

RFID（Radio Frequency Identification の略）タグのデータを読み取ることができます。

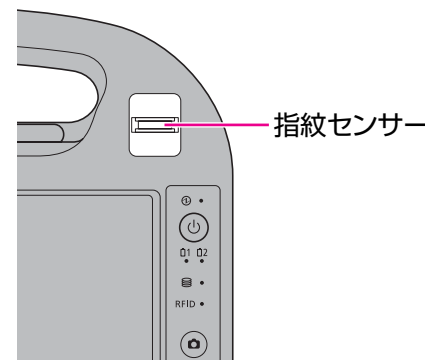
お知らせ

- 通常、RFID リーダーは専門のアプリケーションを使用します。詳しくは、システム管理者にご相談ください。

1 **RFID リーダー（A）を RFID タグの中央に向ける。**

2 **RFID リーダーボタン（B）を押す。**

RFID 認証がサポートしているアプリケーションが起動するか、読み取ったデータが画面に表示されます。

お知らせ

- RFID タグによって操作距離は変わります。

指紋センサー

お知らせ

- 指紋の特徴や状態により、登録および認証ができない場合があります。

■ 指紋センサーを使うには

指紋を登録・認証するときは、以下のように行ってください。

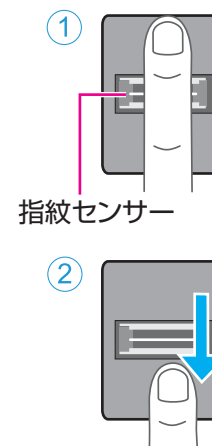
1 指をスライドさせる。

- 読み取りエラーを防ぐには

① 指の第一関節から上の部分をセンサーの上に置く。（右図参照）

② 第一関節から指先までが指紋センサーの上を通るように指をスライドさせる。
- 上下どちらからスライドさせても読み取れます。

- 以下のような場合は、指紋の登録・認証ができないことがあります：
  - 指をスライドするのが速すぎる、または遅すぎる
  - 指が汚れている、または指に傷がある
  - 指がぬれている、または極度に乾いている
  - 指紋に個人を特定するための十分な情報がない

  詳しくは、「指紋センサー」（➔ 118 ページ）をご参照ください。

お願い

- 指紋センサーの誤った使用から生じる損失や故障、または指紋センサーの不具合などによるデータ消失に対して、当社は一切責任を負いません。

概要

指紋認証について

従来のセキュリティシステムでは、ユーザーを認証するために、ID・パスワードや IC カードなどを使用します。しかしこれらでは、紛失や盗難、ハッキングの危険があります。
指紋認証は、指紋をパスワードに使う方法です。パソコンをスタートさせたり Windows にログオンしたりするために、自分の指紋を使うことができます。
TPM（内蔵セキュリティチップ）と組み合わせて指紋センサーを使用することにより、お使いのパソコンのセキュリティレベルを高くすることをお勧めします。

インストール手順

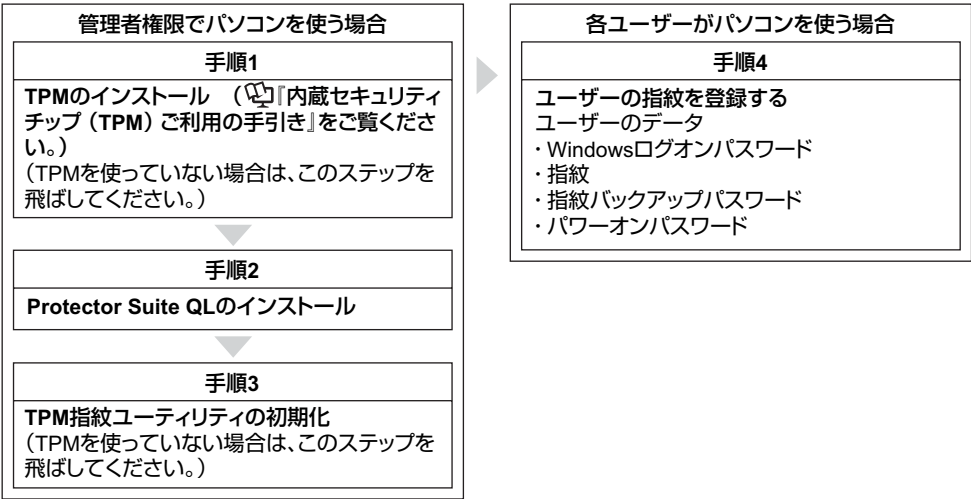
管理者権限でパソコンを使う場合

手順1
TPMのインストール （『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。） （TPMを使っていない場合は、このステップを飛ばしてください。）

手順2
Protector Suite QLのインストール

手順3
TPM指紋ユーティリティの初期化 （TPMを使っていない場合は、このステップを飛ばしてください。）

各ユーザーがパソコンを使う場合

手順4
ユーザーの指紋を登録する ユーザーのデータ ・Windowsログオンパスワード ・指紋 ・指紋バックアップパスワード ・パワーオンパスワード

■ ヘルプにアクセスするには

本書には、手順 2、3 および手順 4 の最初の部分が記載されています。
詳しくは、Protector Suite QL Help メニューをご覧ください。

- （スタート）- [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [ヘルプ] をクリックする。

使用上のお願い

■ セキュリティ機能について

- 指紋認証機能は、本人認証と識別を完全に保証するものではありません。指紋認証を使ったこと、または使えなかったことにより発生した損害については、当社では一切責任を負いかねます。
- 指紋認証方法は、複数の指紋、暗号化キー、証明データ、パスワードを使います。指紋が使用できなくなったり、暗号化キー、証明データ、パスワードを失ったりすると、データを使うことができません。指紋認証データは安全な場所にバックアップしてください。詳しくは、「バックアップ」（➔ 51 ページ）をご覧ください。
- 他社製アプリケーションソフトとの相互運用への保証はありません。

インストール

1　TPM をインストールする。

『内蔵セキュリティチップ （TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

（スタート）をクリックし、[検索の開始] に「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、↵ を押す。

- TPM を使用しない場合、この手順は不要です。

2　Protector Suite QL をインストールする。

① 管理者のユーザーアカウントでログオンする。

② 他のプログラムを閉じる。

③ （スタート）をクリックし、[検索の開始] に「c:¥util¥drivers¥fngprint¥install¥setup32.exe」と入力して、↵ を押す。

④ [次へ] をクリックする。
インストールが始まります。画面の指示に従ってください。

⑤「Protector Suite QL *.* は正常にインストールされました。」が表示されたら、[完了] をクリックする。
確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてください。
パソコンが再起動します。

⑥ 管理者のユーザーアカウントでログオンする。

画面右下の通知領域に （Protector Suite QL）が表示されます。

3 TPM 指紋ユーティリティを初期化する。

管理者のユーザーアカウントでログオンしてください。

画面右下の通知領域の （Protector Suite QL）をクリックすると、メッセージが表示されます。

- TPM を使っていない場合は、この手順は不要です。

　① メッセージをクリックし、[拡張セキュリティ初期化ウィザード] を開始してください。
　以降、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 「無効な TPM 状況」のメッセージが表示されない場合は、下記の操作を行ってください。
  - （スタート）- [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [コントロールセンター] - [設定] - [システム設定] - [TPM] - [TPM を初期化] をクリックする。

4 ユーザーの指紋登録をする。

それぞれのユーザーで行ってください。

① （スタート）- [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [ユーザー登録] をクリックする。

② ライセンス同意文をよく読み、[使用許諾契約書に同意します] を選択して [OK] をクリックする。

③ [次へ] をクリックする。

④ 登録モードを選び、[完了] をクリックする。

- 登録モードの設定
  ここでは、登録の設定を一度だけ行えます。
  - バイオメトリックスデバイスへの登録
    指紋データは直接指紋センサーに登録されます。指紋センサーに内蔵されたハードウェア保護機能により登録データは安全に保管されます。画面に利用可能な指紋の数が表示されます。
  - ハードディスクへの登録
    指紋データはハードディスクに保存します。ハードウェア保護機能は利用できませんが、登録できる指紋の数に制限はありません。
- 「完了」画面が表示されたら、説明をよくお読みください。
- 「ユーザー登録」ウィザードが起動します。画面の指示に従ってください。

お知らせ

- 少なくとも 2 本の指を登録してください。1 つのデータが破損した場合でも、別の登録データでアカウントとシークレットデータにアクセスすることができます。登録について詳しくは、「指紋センサーを使うには」（➔ 45 ページ）および「指紋チュートリアル」（下記の方法でアクセスできます）をご覧ください。
  - （スタート）- [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [指紋チュートリアル] をクリックする。

- パワーオンセキュリティを使うことをお勧めします。この機能は、ユーザーのパソコンが不正にアクセスされることをBIOSレベルで防ぎます。
  最初の指紋を登録した後、[パワーオンセキュリティ] メッセージが表示されます。[はい] を選択してください。
  ① [パワーオンセキュリティ] 画面が出たら、[パスワードを管理します] をクリックする。
  ② [パスワードのタイプ] の [パワーオン] をクリックし、[パスワードを設定] をクリックする。
  ③ パワーオンセキュリティのパスワードを入力し、[OK] をクリックする。
  ④ [閉じる] をクリックする。
  ⑤ [パスワードのタイプ] の [パワーオン] にチェックマークを付ける。
  ⑥ パスワード（手順③）を入力し、[OK] をクリックする。
  ⑦ [次へ] をクリックする。
  - 以降、画面の指示に従ってください。

お知らせ

- [パワーオンセキュリティ] を使用すると、選択された登録モードにかかわらず、指紋は指紋センサーに登録されます。利用可能な指紋の数が画面に表示されます。

セキュリティレベルをさらに高くする

BIOS レベルの設定により、パソコンのセキュリティレベルをさらに高めることができます。
このセキュリティ機能を使用するときは、パソコンを起動させるときにパソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードをクレードルに接続しておく必要があります。

準備
パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードをクレードルに接続してください。

1　スーパーバイザーパスワードを登録する。
次の手順に従ってスーパーバイザーパスワードを登録してください。
すでにスーパーバイザーパスワードを登録してある場合は、この手順を省略し、手順 **2** に進んでください。
スーパーバイザーパスワードを登録していない場合、Protector Suite QL を使って指紋が登録されており、かつパワーオンセキュリティが有効なときは、下記手順 ② の後に指紋認証が必要になります。

① パソコンの電源を入れる。または再起動する。
② パソコンが起動を始めた後、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に **F2** または **Del** を押す。
③「セキュリティ」メニューを選ぶ。
④「スーパーバイザーパスワード設定」を選び、↵ を押す。
⑤「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、↵ を押す。
- パスワードは画面に表示されません。
- 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大 32 文字です。
- 大文字／小文字は区別されません。
- **Shift** と **Ctrl** は使用できません。

⑥「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、↵ を押す。

2　高度セキュリティを設定する。
①「指紋セキュリティ」を選択し、↵ を押す。
②「パワーオンセキュリティ」の「有効」を選択する。
③「セキュリティモード」を選択し、「高度」を選ぶ。
- 初期設定：簡易

④ **Esc** を押し、サブメニューを閉じる。
⑤ **F10** を押し、「はい」を選び、↵ を押してセットアップユーティリティを終わる。

お知らせ

- 「高度」セキュリティモードでは、指紋認証をした後でも、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力が必要になります。「簡易」セキュリティモードでは必要ありません。

上手にお使いいただくために

バックアップ

指紋データや認証情報などは、パスポートというファイルに記録されます。アクシデントによるデータ消失を防ぐために、このパスポートファイルをリムーバブルディスクやネットワークドライブなど、安全な場所に定期的にバックアップされることをお勧めします。内部ハードディスクドライブに保存すると、指紋認証セキュリティの安全性が低くなります。
また、バックアップパスワードがあれば、いざというときに指紋認証を回避することができます。「ユーザー登録」ウィザードを使ってバックアップパスワードを設定されることをお勧めします。バックアップパスワードを設定しなかった場合は、認証機器の故障によるデータ消失のおそれがあります。

- 各ユーザーが使用するファイル
  - ユーザーパスポートデータのバックアップ
    （初期名：< ユーザーアカウント >.vtp）
    埋め込み指紋認証チップやハードディスクドライブの交換、または Windows の再インストールを行った場合にこのファイルが必要です。
    パスポートファイルには、指紋、暗号化キー、ログオン認証のデータが含まれています。

お知らせ

- バックアップするには
  ユーザーデータを保存するために [ユーザーデータをインポート/エクスポート] の [エクスポート] を選んでください。
  - （スタート）- [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [コントロールセンター] - [指紋] をクリックする。
  詳しくは、ソフトウェアのヘルプ（➔ 46 ページ）をご覧ください。

- 各ユーザーが使うパスワード
  - 登録のためのバックアップパスワード
    バックアップパスワードは、機器の故障などのとき指紋認証を回避するのに役立ちます。

お願い

- その他のパスワードも、セキュリティに使用しますので、消失しないようにしてください。詳しくは、ソフトウェアのヘルプ（➔ 46 ページ）をご覧ください。

使用制限

- パスワードバンク [*1] 制限：以下の Web ページはサポートされません。
  以下の技術で作成された Web ページ
  - Java スクリプトを使って自動生成された Web フォーム。
  - 1 つのフォーム（ログインフィールド、パスワードフィールドなど）に見えるが、内部的には 2 つの独立したフォームで作成された Web フォーム。
  - 送信ボタンのない Web フォームでは自動送信のトラブルが起きる場合があります。↵ で送信できないすべてのフォームでは、パスワードバンクで入れますが、送信はできません。
- パスワードバンク [*1] 制限：以下の Windows アプリケーションはサポートされません。
  - 標準の Windows コントロールを使わず、独自のコントロールで作成されたアプリケーション。
  - Java ベースのアプリケーションを含むもの。

[*1] この機能については、ソフトウェアのヘルプ（➔ 46 ページ）をご覧ください。

指紋センサーの取り扱いについて

- 登録と認証の感度は、以下のような状況によって変化します。センサー表面の汚れや湿気を乾いた柔らかい布でふき取ってください。
  - 指紋センサー表面が、ごみ、皮脂油、汗などで汚れている
  - 指紋センサー表面が、湿気や結露によって湿っている
- 静電気によってセンサーが誤動作する場合があります。指紋センサーに触れる前に金属の表面に触れるなどして、指から静電気を取り除いてください。特に冬や他の乾燥状態での静電気にご注意ください。
- 動作不良や故障が発生するとき：
  - 指紋センサー表面が、固いもので擦られたり、引っかかれたり、または先のとがったものでつつかれたために傷が付いたりしている。
  - センサーが汚れた指で触られたり、小さな物体による損傷で表面にしみが付いている。
  - センサー表面がシールで覆われたり、インクで汚れたりしている。

所有者データの消去（初期化）

パソコンを廃棄したり他の人に譲渡したりする場合は、不正なアクセスを避けるために所有者データを消去（初期化）してください。

お知らせ

- 指紋センサーに登録されたデータは画像データではありません。指紋センサーに登録されたデータから指紋画像データを再生することはできません。

1 パワーオンセキュリティを無効にする。

管理者のユーザーアカウントでログオンする。

① （スタート）- [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [コントロールセンター] をクリックする。
- 「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

② [設定] をクリックし、[パワーオンセキュリティ] をクリックする。

③ [コンピュータの起動に指紋を使用する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする。

④ [指紋] をクリックし、[指紋の登録または編集] をクリックする。
- [ユーザー登録] 画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

⑤「ユーザーの指紋」画面が表示されたら、指紋サンプルを消さずに [次へ] をクリックする。

⑥ [パスワードを管理します] をクリックする。

⑦ [パスワードのタイプ] の [パワーオン] を選び、[パスワードを未設定] をクリックする。

⑧ パワーオンセキュリティのパスワードを入力し、[OK] をクリックする。

⑨ [閉じる] をクリックする。
- [パスワードのタイプ] に何も項目がないことを確認してください。

⑩ [次へ] - [次へ] をクリックする。

⑪ [完了] をクリックする。
- 画面の指示に従ってください。

2 指紋データを削除する。

各ユーザーで行ってください。

① [指紋] をクリックし、[削除] をクリックする。
「指の読み取り」画面が表示されます。

② ユーザーの指をスキャンする。
- 認証に成功すると、確認メッセージが表示されます。

③ [はい] をクリックする。
- ユーザーデータが削除されたことを確認してください。

お知らせ

- 登録モードが「ハードディスクへの登録」(➔ 48 ページ)に設定されている場合は、手順 **2** の後に指紋データを削除することが必要です。
  パソコンの管理者権限で行ってください。
  ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [コントロールセンター] をクリックする。
  ② [設定] をクリックし、「パワーオンセキュリティ」をクリックする。
  ③ 指紋を選び、[削除] をクリックする。
  - すべての指紋を確実に削除してください。

3 **Protector Suite QL をアンインストールする。**

管理者のユーザーアカウントでログオンする。

① すべてのプログラムを閉じる。

② (スタート) - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] をクリックする。

③ [Protector Suite *.*] をダブルクリックし、[削除] をクリックする。

④ [全ての Protector Suite *.* のデータを削除する] を選び、[次へ] をクリックする。
- アンインストールが始まります。画面の指示に従ってください。

⑤ アンインストール終了のメッセージが表示されたら [完了] をクリックする。
- 確認メッセージが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
- パソコンが再起動します。

所有者データの再登録

「困ったときは（詳細編）」で指紋センサーの問題（➔ 118 ページ）が解決しない場合は、所有者データを消去し、再登録することで解決する場合があります。ただし、パスワード、シークレットキー、および指紋データは消失します。

① 管理者のユーザーアカウントでログオンする。
- Windows ログオンパスワードで常にパソコンにアクセスできます。
  便利モードでは、どのユーザーも Windows ログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。

② 次回、パスワード、シークレットキーや登録した指紋を使う予定がある場合は、パスポートをファイルに書き出す。
- すでに最新のパスポートを書き出している場合は、この手順は不要です。
- バイオメトリックス認証で指が認識されたら、「ユーザーデータをインポート/エクスポート」画面を使って指をスキャンし、画面の指示に従って操作を続けてください。
- バイオメトリックス認証で指が認識されない場合は、「ユーザーデータをインポート/エクスポート」画面を表示させ、指紋認証なしでパスポートを書き出すことができます。この場合は指紋ダイアログをキャンセルすることが必要で、パスワードを要求されます。[拡張セキュリティ] を使わない場合は、Windowsログオンパスワードを入力してください。または、[拡張セキュリティ] バックアップパスワードを入力してください。

お願い

- バックアップパスワードなしで [拡張セキュリティ] を使う場合、データをバックアップする方法はありません。
  - バイオメトリックス認証が動作しない場合は、データをバックアップする方法はありません。

③ パスポートの削除
- [削除] 画面を使います。保存されたデータ（パスワード、[File Safe] 暗号化キー）が消失しますのでご注意ください。
  データをバックアップしてある場合は、次の手順で復元できます。データをバックアップしていない場合は完全に消失します。
  削除操作を行うには、指紋確認操作をキャンセルしてパスワードダイアログを表示させて、Windowsログオンパスワードかバックアップパスワードを入力してください。

④ 指紋センサーが動作していることを確かめる。
- チュートリアル画面を使って、指紋センサーの動作を確認してください。動作しない場合は、再起動して再度行ってください。それでも動作しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。

⑤ パスポートを復元または作成する。
- データをバックアップしてある場合はすぐ、[ユーザーデータをインポート/エクスポート] を使ってデータを復元してください。または、[指紋の登録または編集] を使って新しいパスポートを作成してください。

使用上のお願い

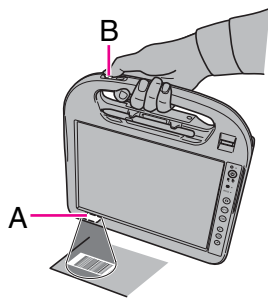
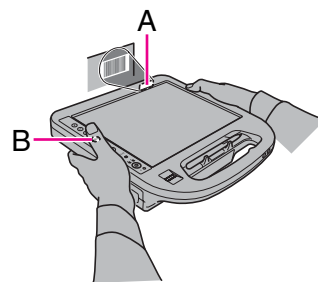
- 読み取り窓や読み取り用の LED を直視しないでください。
- 付属の『取扱説明書』の「安全上のご注意」も必ずお読みください。

読み取り可能なバーコードの種類

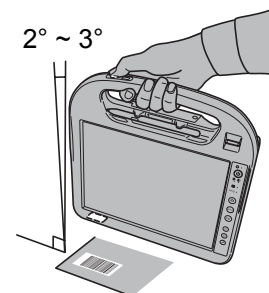
Australian Post、Aztec、BPO、Codabar、Code11、Code39、Code93、Code128/GS1-128、DataMatrix、DutchPost、GS1Composite、I2 of 5、JapanPost、Maxicode、MSI Code、PDF417、MicroPDF417、Planet、Plessey Code、Postnet、QR Code、GS1 Databar、Telepen、TLC39、UPC/EAN

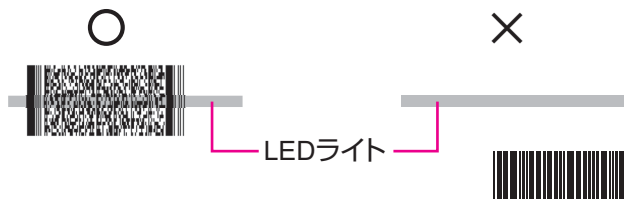
バーコードを読み取る

1 **バーコードにリーダーの読み取り窓（A）を向ける。**

2 **バーコードボタン（B）を押す。**
読み取り位置を示す赤色の LED ライトが点灯します。

水平面でバーコードを読み取る場合

垂直面でバーコードを読み取る場合

■ 本機でバーコードを正しく読み取るために以下の点にご注意願います。

- 読み取り時の角度に気を付けてください。
  図のような角度（直角＋ 2° ~ 3°）で読み取ることをお勧めします。

- 大きいバーコードを読み取るときは遠くから、小さいバーコードやバーが細いバーコードを読み取るときは近くから操作してください。
- LED ライトがバーコード全体にかかるようにして読み取ってください。

- バーコードが LED ライトの中央からずれていても、読み取りは可能です。ただし、バーコードが LED ライトの中から少しでもはみ出してしまうと、読み取れなくなります。バーコードを完全に LED ライトの中に入れるようにしてください。

読み取り窓のお手入れ

水に浸した柔らかい布または綿棒で軽く汚れをふき取ってください。
紙やすりや金属などは、読み取り窓に触れないようにしてください。読み取り窓に傷が付く場合があります。
水や洗剤、アルコールなどを直接かけないでください。

読み取り窓以外は、付属の『取扱説明書』の「取り扱いとお手入れ」をご覧ください。

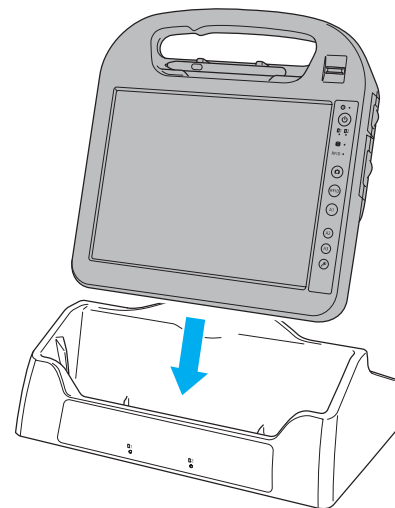
本機をクレードル（別売り）に取り付けることで、いろいろな周辺機器を接続できるようになります。
クレードルに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

■ パソコンをクレードルに取り付ける

1 パソコンの電源を切る。

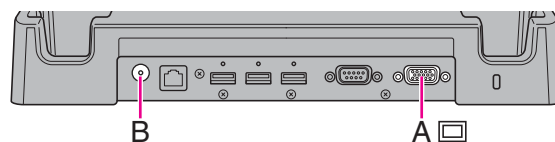
- スリープや休止状態に入らないでください。

2 クレードルの電源端子に AC アダプターを接続する。

3 LCD 側を手前にして、パソコンをクレードルの上から挿入する。

お願い

- 電源オン時やスリープ・休止状態でクレードルに取り付けたり取り外したりすることはできません。
- コネクターが汚れていたらブラシなどで汚れを払い落としてください。また、水分が付着したらふき取ってください。接触不良の原因になります。

外部ディスプレイ

クレードル接続時に、画面の表示先を外部ディスプレイに切り替えることができます。
パソコンの電源を入れる前に、外部ディスプレイをクレードルの外部ディスプレイコネクター（A）に接続し、AC アダプターをクレードルの電源端子（B）に接続してください。

<クレードルの後面>

お知らせ

- スリープ・休止状態からのリジューム後または再起動後の表示先は、スリープ・休止状態に入る前または再起動前と異なる場合があります。
- Windows の起動後に表示先を切り替える場合、切り替えが完了するまでボタン、キーおよび画面に触れないでください。
- Windows が起動するまで（セットアップユーティリティなど）、内部 LCD と外部ディスプレイの切り替えはできません。
- スリープ・休止状態のときに、外部ディスプレイを接続したり取り外したりしないでください。
- 接続するディスプレイによっては、表示の切り替えに時間がかかることがあります。
- 高解像度の外部ディスプレイを使用する場合、[Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for ultra mobile] で [MID] に切り替えると、画面の色や解像度、リフレッシュレートが変更されることがあります。
  [A1] ボタンを押して表示先を切り替えることをお勧めします。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部 LCD のみ、または同時表示をする場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、解像度、リフレッシュレートを設定してください。内部 LCD から外部ディスプレイに切り替えたとき、外部ディスプレイの解像度は内部 LCD の設定と同じになります。再度、解像度を設定してください。
  設定によっては、外部ディスプレイ画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されなかったりする場合があります。その場合は設定値を下げてください。
- 同時表示しているときは、DVD-Video、MPEG ファイルなどの動画がスムーズに再生されない場合があります。
- 外部ディスプレイの取扱説明書をよくお読みください。
- プラグアンドプレイに対応していない外部ディスプレイを接続する場合は、下記メニューで適切なドライバーを選択するか、外部ディスプレイに付属のドライバーディスクを使用してください。
  ① （スタート）- [コントロールパネル] - [画面の解像度の調整] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ].
    • 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
  ② [ドライバ] - [ドライバの更新] をクリックする。

お願い

- 外部ディスプレイを取り外す前に、表示先を内部 LCD に切り替えてください。切り替えをしないと、取り外す前と後で画質が異なる場合があります（解像度が正しくないなど）。
- 次の操作を行うと、画面が乱れる場合があります。その場合は、パソコンを再起動してください。
  - 高解像度または高リフレッシュレートに設定した外部ディスプレイを取り外す
  - パソコン操作中に外部ディスプレイの接続や取り外しを行う

表示先を切り替える

以下の方法でディスプレイを切り替えることができます。

■ [A1] ボタンによる方法

1 [A1] **ボタン** [*1] **を押す。**

押すたびに、以下のように切り替わります。

内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ

[*1] アプリケーションボタンの設定を変えることができます。（➔ 13 ページ）

■ [グラフィックプロパティ] による方法

[A1] ボタンを使って切り替えができない場合は、以下の手順を行ってください。

1 **デスクトップを右クリックし、[グラフィックプロパティ] をクリックする。**

2 **設定を選択する。**

3 **[OK] をクリックする。**

拡張デスクトップモードを使う

拡張デスクトップモードでは、内部 LCD と外部ディスプレイをひと続きの作業領域として使うことができます。内部 LCD と外部ディスプレイとの間で、ウィンドウのドラッグ移動などができます。

1 **デスクトップを右クリックし、[グラフィックプロパティ] をクリックする。**

2 **[拡張デスクトップ] をクリックし、[プライマリデバイス] と [セカンダリデバイス] を設定する。**

3 **[ディスプレイ設定] をクリックして画面の色や解像度などを設定する。**

4 **[OK] をクリックする。**

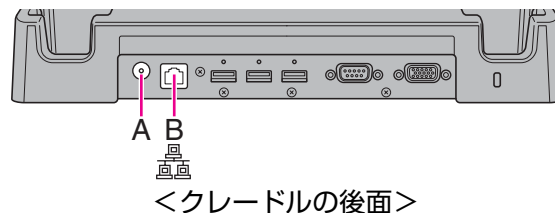
お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンをクリックすると、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
- [A1] ボタンを押してディスプレイを切り替えることはできません。
- 左（プライマリデバイス）と右（セカンダリデバイス）を入れ替えるときは、ディスプレイの設定をいったん「ノートブックのみ」に戻してから、次の手順を行ってください。
  ① デスクトップを右クリックし、[グラフィックオプション] をクリックする。
  ② [出力先] - [MID] をクリックする。
  ③ デスクトップを右クリックし、[グラフィックオプション] をクリックする。
  ④ [出力先] - [拡張デスクトップ] をクリックし、[PC モニタ + MID]（外部ディスプレイがプライマリーデバイスに設定される）か、または [MID + PC モニタ]（内部 LCD がプライマリーデバイスに設定される）をクリックする。
- 拡張デスクトップモードへ切り替えるときは、必ず [グラフィックプロパティ] 画面か、[検出された新しいディスプレイ] 画面を使用してください。これ以外の方法（画面の設定など）を使用すると、画面が正常に表示されないことがあります。
- デュアルタッチを使用しているときは、内部 LCD をプライマリーデバイスとして設定してください。内部 LCD に触れると、プライマリーデバイス上でカーソルが動きます。

クレードル接続時のみ、LAN 機能が使えます。

LAN を接続する

＜クレードルの後面＞

1. **パソコンの電源を切る。**
   - スリープや休止状態に入らないでください。
2. **クレードルの電源端子（A）に AC アダプターを接続する。**
3. **パソコンをクレードルに取り付ける。**
4. **LAN ケーブルを使って、LAN コネクター（B）とネットワークシステム（サーバーやハブなど）を接続する。**
5. **パソコンの電源を入れる。**

無線通信のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- 無線切り替えユーティリティを使う（下記）
- [ネットワークと共有センター] の設定を変更する（➔ 67 ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューの設定を変更する（➔ 96 ページ）
- 無線 LAN のオン／オフは、LAN ケーブルの接続状態によって、自動的に切り替えることもできます。（➔ 91 ページ）

お知らせ

- 無線 LAN について詳しくは：➔ 66 ページ
- Bluetooth について詳しくは：➔ 71 ページ
- ワイヤレス WAN について詳しくは：無線機器の説明書をご覧ください。

無線切り替えユーティリティを使う

無線切り替えユーティリティを使うと、画面右下の通知領域のポップアップメニューにより無線機器のオン／オフを切り替えることができます。工場出荷時には、すべての無線機器がオンに設定されています。

■ 無線切り替えユーティリティアイコン

画面右下の通知領域の無線切り替えユーティリティアイコンは、無線機器の状態を表します。

- ：無線機器がオンのとき
- ：無線機器がオフのとき
- ：無線機器がセットアップユーティリティで無効になっているとき

■ 無線機器を個別にオン／オフする

1 **画面右下の通知領域の「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）をクリックし、ポップアップメニューを表示する。**

2 **無線機器を選んで、オンとオフを切り替える。**

■ 無線通信の状態を確認するには

1 **画面右下の通知領域の「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**
ツールのヒントが表示されます。

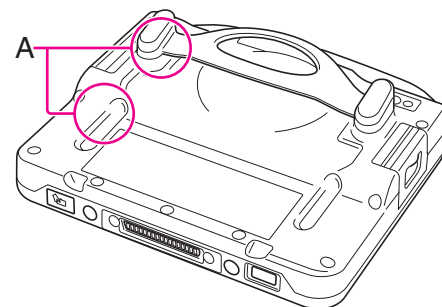
お知らせ

- 無線通信を行うためには、セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューの無線機器（「無線LAN」／「Bluetooth」／「ワイヤレスWAN」）を 「有効」に設定してください（工場出荷時は「有効」に設定されています）。（➔ 96ページ）
- [デバイスマネージャ] で IEEE802.11a 設定を変更すると（➔ 69 ページ）、それに伴い状態表示も変わります。

お願い

- 無線 LAN を通じてパソコンに無断アクセスされないようにするには
  無線 LAN をご使用になる前に、暗号化などのセキュリティ設定を行うことをお勧めします。設定をしないと、共有ファイルなどハードディスク上のデータに無断でアクセスされる危険性があります。

お知らせ

- 通信は無線 LAN アンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線 LAN が使えなくなる場合があります。
- 電子レンジの近くでは、正常に動作しない場合や通信速度が遅くなる場合があります。
- 無線 LAN を使うには、セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューで「無線 LAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。
  （➔ 96 ページ）

無線 LAN 機能を使う

無線 LAN をお使いになる前に、無線 LAN 通信をオンにしてください。

無線 LAN 通信をオン／オフする

1. **画面右下の通知領域の または をクリックし、[ネットワークと共有センター] をクリックする。**
2. **[ネットワーク接続の管理] をクリックする。**
3. **[ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックし、[有効にする] をクリックする。**
   - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
   - [ワイヤレスネットワーク接続] がすでに有効に設定されているときは、[無効にする] が表示されます。
4. **無線切り替えユーティリティで無線 LAN をオンにする。**

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティを使わずに、次の手順で無線 LAN をオンにすることもできます。
  ① （スタート）- [コントロールパネル] - [共通で使うモビリティ設定の調整] をクリックする。
  ② [ワイヤレスネットワーク] の [ワイヤレスをオンにする] をクリックする。
  - ワイヤレスネットワークがすでに有効に設定されているときは、[ワイヤレスをオフにする] が表示されます。

無線 LAN のアクセスポイントを設定する

準備

無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書に従って、アクセスポイントがパソコンを認識できるように設定してください。

1. **無線 LAN をオンにする。**
2. **通知領域の または をクリックし、[ネットワークに接続] をクリックする。**
   ご使用のパソコンが別のネットワークに接続されているときは、[接続または切断] をクリックしてください。
   [ネットワークに接続] 画面が表示されます。
3. **をクリックしてアクセスポイントを選択し、[接続] をクリックする。**
4. **設定したアクセスポイントに対応するキーを入力し、パソコンを認識させて [接続] をクリックする。**
   パソコンが無線 LAN のアクセスポイントへ接続するまでお待ちください。
   [正しく接続しました] が表示されたら、無線 LAN の設定は完了です。
   - [このネットワークを保存します] にチェックマークを付けると、パスワード、設定などを保存できます。
   - [この接続を自動的に開始します] にチェックマークを付けると、パソコンが自動的にアクセスポイントを検出してインターネットへ接続します。
5. **[閉じる] をクリックする。**

お知らせ

- 設定内容はネットワーク環境によって異なります。詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。
- アクセスポイントの自動検出を制限するステルスモードでアクセスポイントへ接続するときは、次の手順を実行してください。
  次の手順を実行しないと、アクセスポイントにアクセスできなかったり、[ネットワークに接続]画面にアクセスポイントが表示されなかったりすることがあります。
  ① 画面右下の通知領域の または をクリックし、[ネットワークと共有センター]- [接続またはネットワークのセットアップ] - [ワイヤレス ネットワークに手動で接続します]をクリックし、[次へ]をクリックする。
  ② 必要な情報を入力し、[この接続を自動的に開始します]と[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]にチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。
  詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（802.11a）の設定

無線 LAN の規格 IEEE802.11a の 5.2 GHz/5.3 GHz 帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。
5.47 GHz ～ 5.725 GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 **画面右下の通知領域の または をクリックする。**

2 **[802.11a 有効] または [802.11a 無効] をクリックする。**

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（ または ）は、IEEE802.11a の設定ではなく、無線 LAN / Bluetooth / ワイヤレス WAN のオン／オフ状態を示しています。
- パソコンが IEEE802.11b/g アクセスポイントに接続されているときに、IEEE802.11a を有効または無効にすると、一時的に通信が途切れることがあります。
- [デバイス マネージャ] でも IEEE802.11a の設定を変更することができます。
  ① （スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイスマネージャ] をクリックする。
    - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
  ② [ネットワーク アダプタ] をダブルクリックし、[Intel(R) WiFi Link 5100 AGN] をダブルクリックする。
  ③ [詳細設定] をクリックし、[プロパティ] の [ワイヤレス モード] を選択する。
  ④ [値] で設定（[5. 802.11a/g] など）を選択する。
  ⑤ [OK] をクリックする。

  無線切り替えユーティリティのポップアップメニューで IEEE 802.11a を有効または無効にすると、[デバイスマネージャ] の設定により下記のように切り替わります。

デバイスマネージャの設定	切り替えユーティリティの設定	
	IEEE802.11a が有効のとき	IEEE802.11a が無効のとき
[6. 802.11a/b/g] [4. 802.11b/g]	a+b+g が有効	b+g が有効
[3. 802.11g] [5. 802.11a/g]	a+g が有効	g が有効
[1. 802.11a] [2. 802.11b]	a が有効	b が有効

FREESPOTで使う

FREESPOT とは、無線 LAN でインターネットにアクセスできる環境を開放し、誰でもメールやインターネットを利用できるエリア・サービスのことです。
FREESPOT を利用するためには、無線 LAN の設定を FREESPOT 用に設定する必要があります。本機では、FREESPOT を簡単に利用できるようあらかじめ FREESPOT 用の設定が登録されています。
FREESPOT の設定場所や設定方法については、http://www.freespot.com/ をご覧ください。

お願い

- FREESPOTの設定場所に移動し、電波を受信できる環境で設定してください。
- 屋外でFREESPOTを利用する場合は、IEEE802.11aを無効に設定してください。（➔ 69ページ）IEEE802.11aの5.2 GHz／5.3 GHz帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。
  5.47 GHz～5.725 GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 FREESPOTの設定を選択する。

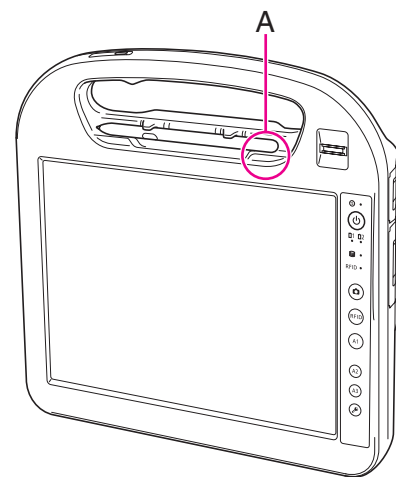
① 画面右下の通知領域の「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）を右クリックして、[ネットワークに接続]をクリックする。
② [FREESPOT]をクリックする。
③ [接続]をクリックする。

お知らせ

- [FREESPOT]をクリックすると、自動的にWindowsファイアウォールが有効になります。

ケーブルを接続しないで、インターネットや他の Bluetooth 機器にアクセスすることができます。

お知らせ

- 通信は Bluetooth アンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- Bluetooth を使うには、セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューで「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。
（➔ 96 ページ）
- 電子レンジの近くでは、正常に動作しない場合や通信速度が遅くなる場合があります。

■ Bluetooth をオン／オフする

➔ 64 ページ「無線通信をオン／オフする」

■ Bluetooth の通信状態を確認する

➔ 64 ページ「無線通信の状態を確認するには」

■ オンラインマニュアルにアクセスする

1 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [ユーザーズガイド] をクリックする。**

ネットセレクター 2でできること

ネットセレクター 2 は、自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合に、接続したネットワークに合わせて設定を切り替えることができるアプリケーションソフトです。
接続先や接続方法が変わると、そのたびに IP アドレスなどの設定を切り替える必要がありますが、ネットセレクター 2 にネットワークの設定を登録しておくと、IP アドレスや使用するプリンターを切り替えることができます。

■ ネットセレクター 2の基本機能

Windows には、次のネットワーク管理機能があります。

- 新たに接続されたネットワークを記憶する
- 記憶したネットワークの接続を識別する
- 識別したネットワークに応じたファイアウォールの設定を適用する

ネットセレクター 2 は、このネットワーク管理機能と連動して、次の動作を行います。

- Windows に記憶されたネットワークに対して、IP アドレスや通常使うプリンターなどの設定データを保存する
- Windows に記憶されたネットワーク [*1] に対して、保存した設定データを適用する [*2]
- LAN ケーブルの抜き挿しによって、無線 LAN の接続を停止 / 再開する [*3]

[*1] すべてのネットワークが自動で識別されるわけではありません。識別されない場合は、「識別されていないネットワーク」と表示されます。

[*2] Windows が自動識別するネットワークに対しては、自動的に設定データを適用することもできます（オプションの設定：➔91 ページ）。

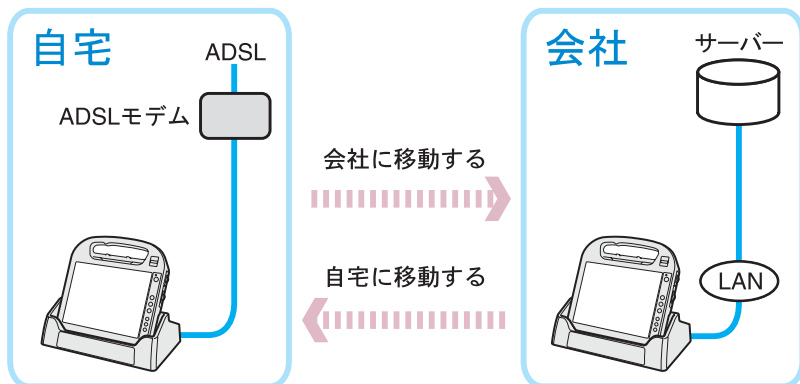
[*3] オプションの設定が必要です（➔91 ページ）。

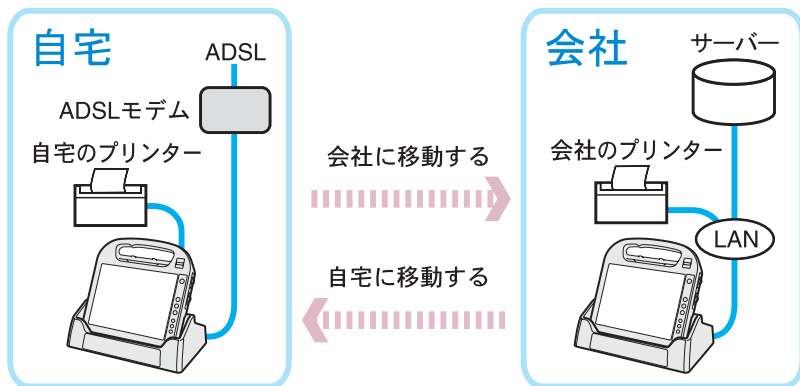
お願い

- ネットセレクター 2に登録されるIPアドレスはIPv4のみです。IPv6には対応していません。
- Guestアカウントでは使用できません。
- 有線LANは、クレードルに接続時のみ使用できます。
- ダイヤルアップ接続を使用するには、別売りの外付けモデムが必要です。

■ 複数のネットワークを使い分ける

場所によってネットワークへ接続する設定が異なる場合、ネットセレクター 2 に設定を登録しておくことで、簡単に設定を切り替えることができます。

例えば、次の図のように自宅では ADSL、会社では有線 LAN に接続している場合、ネットセレクター 2 で設定を切り替えることができます。どちらも Windows が識別できるネットワークの場合は、オプションの設定（➔91 ページ）をすることにより、自動的に設定を切り替えることもできます。

■ 接続するネットワークに合わせて、通常使うプリンターを切り替える

接続するネットワークによって通常使うプリンターが異なる場合、ネットセレクター 2 で通常使うプリンターを切り替えることができます。
どちらも Windows が識別できるネットワークの場合は、オプションの設定（➔91 ページ）をすることにより、自動的に設定を切り替えることもできます。

お知らせ

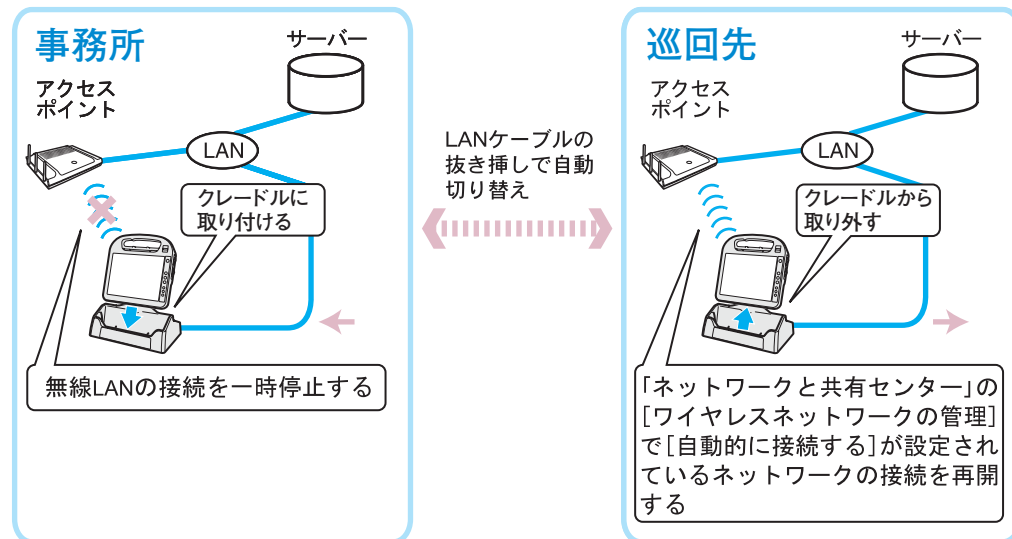
- あらかじめプリンターのドライバーをインストールしておく必要があります。

■ LANケーブルの抜き挿しによって、無線LAN接続を停止/再開する

LAN ケーブルが接続されたクレードルに接続すると無線 LAN の接続を一時的に停止させ、クレードルから取り外すと無線 LAN の接続を再開させることができます。

この機能を使うには、オプションの設定が必要です（➔91 ページ）。

ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。

電波状態が悪い場合は、クレードルから取り外したときに、無線 LAN で同じネットワークの接続が再開されない場合があります。

ネットワークの設定を登録する

ネットセレクター 2 を使うには、ネットワークの設定の登録が必要です。

■ ネットセレクター 2に登録される設定内容

- ネットワーク名
- IP アドレス
- DNS アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定（自動構成、プロキシサーバー設定）
- 通常使うプリンターの設定

■ ネットワークの設定を登録する

1 **Windowsでネットワークの設定を行い、設定したネットワークに接続した状態にする。**

登録するネットワークの設定データを作成してから、登録することもできます（➔77ページ）。

2 **画面右下の通知領域にある(ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定]をクリックする。**

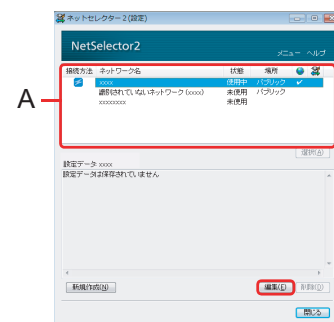
「ネットセレクター 2（設定)」画面は、(ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

通知領域に(ネットセレクター 2）が表示されていない場合は、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ネットセレクター 2] - [ネットセレクター 2]をクリックしてください。通知領域に(ネットセレクター 2）が表示されます。

3 **ネットワーク一覧（A）に表示されている接続中のネットワーク（「状態」が「使用中」の項目）から登録したいネットワーク名を選択し、[編集] をクリックする。**

ネットセレクター 2のネットワーク一覧には、次のネットワークが表示されます。

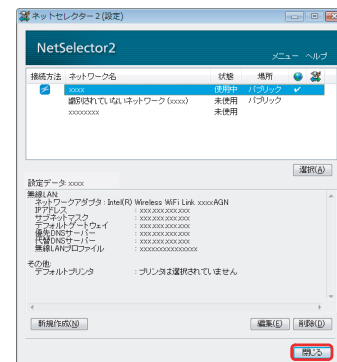
- 現在接続中のネットワーク
- ネットセレクター 2 に設定を登録したネットワーク

接続中のネットワークがなく、ネットセレクター 2に何も登録していない場合は、次の画面が表示されます。

4 **設定内容を登録し、[OK]をクリックする。**

ネットワークの設定がネットセレクター 2に登録されます。
設定内容を変更する場合は、[編集]をクリックして設定内容を編集してください（➔91ページ）。

5 **登録したいネットワークの設定が複数ある場合は、手順*1*〜*4*（➔75ページ）を繰り返す。**

6 **[閉じる]をクリックする。**

お願い

- ネットセレクター 2では、1つのネットワークに複数の有線LANアダプターまたは複数の無線LANアダプターを使って同時に接続することはできません。
- ネットセレクター 2に登録できる設定データは、1つのネットワークに対して1つです。
  1つのネットワークに対して複数のIPアドレスを登録したり、使用するユーザーごとに設定を登録したりすることはできません。登録した内容は、他のユーザーでも共用されます。
- ネットセレクター 2では、Windowsの [ネットワークと共有センター] の [カスタマイズ] - [ネットワークの場所を結合または削除します] で設定できる [ネットワークの場所の結合または削除] はサポートしていません。

お知らせ

- 接続中のネットワークの設定を登録または編集する場合、現在のネットワーク設定を取得する処理が行われます（10秒程度）。
- Windowsで自動認識されないネットワークは、「識別されていないネットワーク」と表示され、ネットセレクター 2では最大で8つまで登録できます。「識別されていないネットワーク」に対して複数の設定が登録されている場合は、前回選択された「識別されていないネットワーク」の設定が適用されます。他の設定に切り替える場合は、手動で選択してください（接続中の「識別されていないネットワーク」が複数ある場合は、ネットセレクター 2で操作することはできません）。

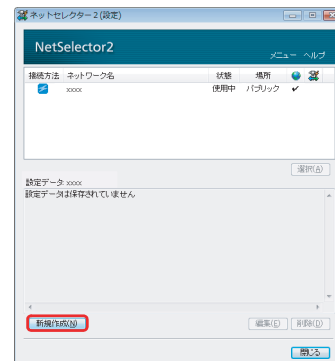
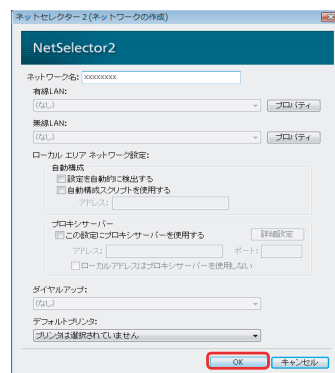
ネットワークの設定データを作成/適用する

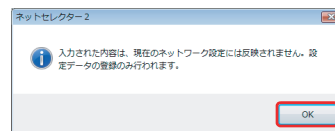
現在接続しているネットワークの設定の登録とは別に、接続に適用する IP アドレスや通常使うプリンターなどの設定をデータとして作成することができます。
作成した設定は、後からネットワークに接続して適用することができます。

■ ネットワークの設定データを作成する

1 **画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

2 **[新規作成]をクリックする。**

3 **設定内容を入力し、[OK]をクリックする。**

4 **[OK]をクリックする。**

ネットワークの設定が作成されます。
設定内容を変更する場合は、「ネットセレクター 2（設定）」画面で[編集]をクリックしてください（➔87ページ）。

5 **作成したいネットワークの設定が複数ある場合は、手順2～4を繰り返す。**

6 **[閉じる] をクリックする。**

お願い

- 上記手順では、ネットワークに接続するための設定データが作成されただけで、この設定データでネットワークに接続することはまだできません。接続するには、次の手順でネットワークに設定データを適用してください。

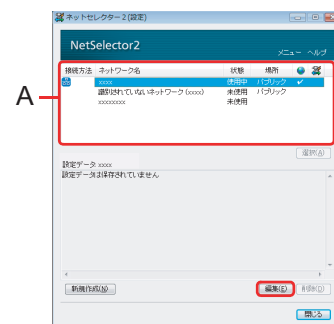
■ ネットワークの設定データを適用する

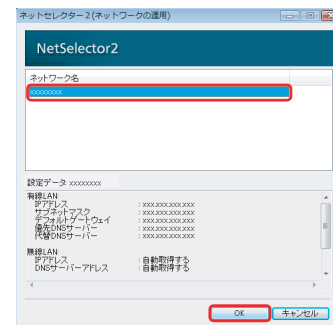
作成した設定データを、接続中のネットワークに適用します。

1 **適用したいネットワークに接続する。**

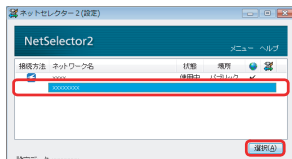
2 **画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

3 **ネットワーク一覧（A）に表示されている接続中のネットワーク（「状態」が「使用中」の項目）を選択し、[編集]をクリックする。**

4 **[新規データの適用]をクリックする。**

5　適用する設定データをクリックし、[OK] をクリックする。

お知らせ

- 次の方法でも、作成したネットワークの設定を適用することができます。

① 画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。
「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。
②「ネットセレクター 2（設定）」画面で、作成した設定データを選択し、[選択] をクリックする。
作成した設定データのの項目にチェックマークが付き、設定データに従ってシステムのネットワーク設定（IPアドレスや、デフォルトゲートウェイなど）が変更されます。

③ ネットワークに接続する。
手順②で選択した設定データを使って接続するネットワークに接続してください。
変更されたシステムのネットワーク設定が接続中のネットワークに反映されます。
④「ネットセレクター 2（設定）」画面で、接続中のネットワーク（「状態」が「使用中」の項目）を選択し、[編集] をクリックする。
⑤ 設定内容を登録し、[OK] をクリックする。
⑥ [閉じる] をクリックする。

画面の各部の名称と働き

ネットセレクター 2 にネットワークの設定を登録（➔75 ページ）すると、次の画面が表示され、設定の切り替えや編集ができます。

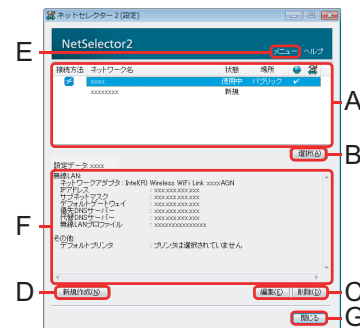
■「ネットセレクター 2（設定）」画面

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックして [設定] をクリックするか、(ネットセレクター 2）をダブルクリックすると表示されます。

A. ネットワーク一覧
現在接続しているネットワークと設定が登録されているネットワーク、設定データが表示されます。インターネットに接続中のネットワークは の項目にチェックマークが付きます。設定を切り替えた場合（➔86ページ）などで最後に適用されたネットワークの登録には の項目にチェックマークが付きます。

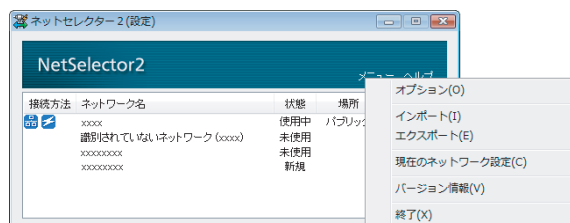
[接続方法] の項目には、現在使用中のネットワークの接続方法がアイコンで表示されます。未使用のネットワークと設定データには表示されません。
: 有線LAN*4で接続中
: 無線LANで接続中
: ダイヤルアップ*5で接続中

*4 クレードルに接続時のみ
*5 別売りの外付けモデムが必要です。

B. [選択]
ネットワーク一覧（A）に表示されている項目を選択した後にクリックすると、選択している項目の設定に切り替わります。項目を選択していない場合はグレーで表示され、クリックできません。

C. [編集]、[削除]
ネットワーク一覧（A）に表示されている項目を選択した後にクリックします。
[編集] をクリックすると、選択したネットワークの設定を登録／編集する画面が表示されます。
ネットワーク一覧（A）で何も選択していない場合はグレーで表示され、クリックできません。

[削除] をクリックすると、選択したネットワークの設定がネットセレクター 2から削除されます。設定を登録したネットワークや作成した設定データが選択されていない場合はグレーで表示され、クリックできません。

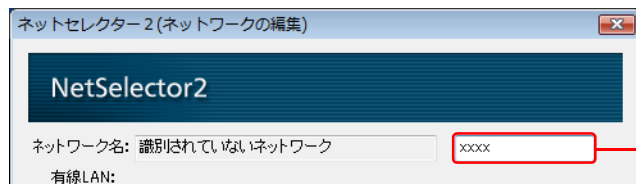
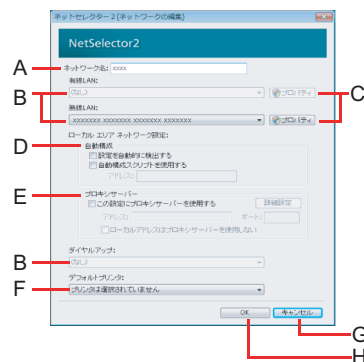
D. [新規作成]
クリックすると、ネットワークの設定データを作成する画面が表示されます。

E. [メニュー]
クリックすると、次の画面のように各メニューが表示されます。
[終了] をクリックするとネットセレクター 2 が終了し、画面右下の通知領域から（ネットセレクター 2）が消えます。
ネットセレクター 2を再起動するには、（スタート） - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ネットセレクター 2] - [ネットセレクター 2] をクリックしてください。画面右下の通知領域に（ネットセレクター 2）が表示されます。

F. 登録した設定データの内容
選択したネットワークの設定内容が表示されます。ネットワークの設定を登録していない場合は、「設定データは保存されていません」と表示されます。

G. [閉じる]
「ネットセレクター 2（設定)」画面を閉じます。

■「ネットセレクター 2(ネットワークの編集)」/「ネットセレクター 2(ネットワークの作成)」画面

- 「ネットセレクター 2(ネットワークの編集)」画面を表示させるには、「ネットセレクター 2(設定)」画面でネットワーク一覧に表示されているネットワークまたは設定データをクリックし、[編集] をクリックします。
- 「ネットセレクター 2(ネットワークの作成)」画面を表示するには、「ネットセレクター 2(設定)」画面で [新規作成] をクリックします。

A. [ネットワーク名]
ネットセレクター 2に登録するネットワーク名を入力します。ネットワーク名は自由に入力することができます。
入力前は、Windowsが自動的に設定したネットワーク名が表示されます。
新規作成の場合は何も入力されていません。
ただし、「識別されていないネットワーク」と表示されている場合は変更できません。
この場合は、副ネットワーク名を入力して登録を行い、区別してください。
副ネットワーク名は自由に入力することができます。

B. ネットワークアダプターリストボックス
ネットワークの接続に使用しているか、またはネットワークの設定に登録されている有線LAN*6/無線LAN のネットワークアダプターとダイヤルアップ*7名を表示します。
現在接続に使用しているネットワークアダプターと登録されているネットワークアダプターが異なる場合は、接続に使用しているネットワークアダプターが表示されます。

*6 クレードルに接続時のみ
*7 別売りの外付けモデムが必要です。

C. [プロパティ]
IPアドレスなどの設定画面が表示されます。ネットワークの接続にIPアドレスなどが必要な場合に入力します。初めて登録する場合は、Windowsのネットワークの設定で入力したIPアドレスが入力されています。
新規作成の場合は、IPアドレスとDNSサーバーのアドレスを自動的に取得するように設定されています。
新規作成したデータを編集する場合は、作成時に設定した内容が入力されています。
標準ユーザーでログオンしている場合、入力には管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードが必要です。
[OK] をクリックすると、入力した内容が現在使用しているネットワークに反映されます。変更前の設定は [OK] をクリックした時点で上書きされるため、変更前のネットワーク設定を継続してお使いになる場合は、あらかじめネットセレクター 2に登録しておくか、メモに残すなどしてください。
ネットセレクター 2に登録する場合は、「ネットセレクター 2(ネットワークの編集)」画面で [OK] をクリックしてください。

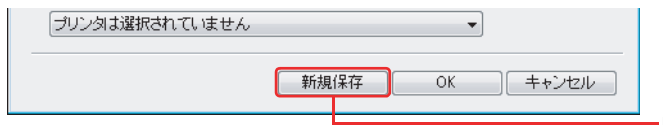
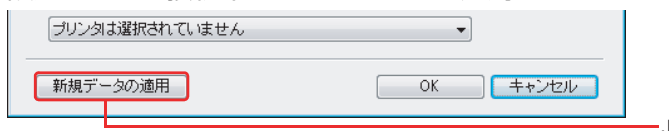
D. [自動構成]
IPアドレスを自動で割り当てる場合は、[設定を自動的に検出する] にチェックマークを付けます。また、IPアドレスの自動割り当てにスクリプトを使用する場合は、[自動構成スクリプトを使用する] にチェックマークを付け、[アドレス] 欄に自動構成スクリプトのアドレスを入力します。

E. [プロキシサーバー]
プロキシサーバーを利用する場合は [この設定にプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付け、プロキシサーバーのアドレスとポートを入力します。[詳細設定] をクリックすると、「ネットセレクター 2(プロキシサーバー詳細設定)」画面(➔85ページ)が表示されます。
初めて登録する場合は、Windowsのネットワークの設定で入力したアドレスとポートが入力されています。
新規作成の場合は何も入力されていません。

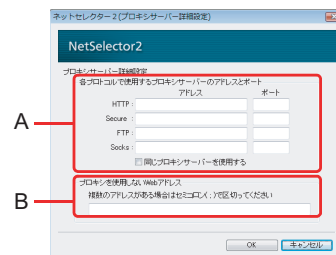
F. [デフォルトプリンタ]
選択したネットワークで通常使うプリンターを設定します。
通常使うプリンターを切り替えない場合は、[プリンタは選択されていません] を選択します。

G. [キャンセル]
ネットワークの設定を登録せずに、画面を閉じます。

H. [OK]
ネットワークの設定が登録されます。

I. [新規保存]
「識別されていないネットワーク」の設定が1個～7個登録されているとき表示されます。「識別されていないネットワーク」に対して、新規にネットワーク設定が登録されます。

J. [新規データの適用]
「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面で設定データを作成している場合にのみ表示されます。作成した設定データを接続中のネットワークに適用します。

■「ネットセレクター 2（プロキシサーバー詳細設定）」画面

画面を表示させるには、「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面または「ネットセレクター 2（ネットワークの作成）」画面で、[この設定にプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付け、[詳細設定] をクリックします。

A. [各プロトコルで使用するプロキシサーバーのアドレスとポート]
HTTPやFTPなどの各プロトコルで使用するプロキシサーバーのアドレスとポートを個別に設定できます。
[同じプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付けると、すべてのプロトコルに同じアドレスとポートを設定します。会社のネットワーク管理者から設定の指示などがある場合は、その指示に従ってください。

B. [プロキシを使用しないWebアドレス]
ローカルアドレスなど、プロキシサーバーを使用しないで接続するWebアドレスを入力します。
会社で接続する場合の詳しい設定方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワークの設定を切り替える

1 切り替えたいネットワークに合わせて準備をする。

- 接続方法を有線 LAN*8 へ切り替える場合
  LAN ケーブルの突起部をクレードルの LAN コネクターの向きに合わせて挿し込み、もう一方をハブやルーター、ADSL モデムなどに接続してください。
- 接続方法を無線 LAN へ切り替える場合
  無線切り替えユーティリティで無線通信をオンにしてください。
- 接続方法を電話回線 *9 へ切り替える場合

  ①通知領域のをを右クリックし、[ネットワークに接続]をクリックする。
  ②ダイヤルアップ接続を選択し、[接続]をクリックする。

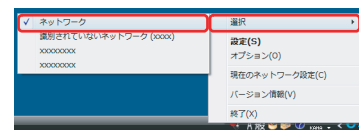
お知らせ

- Windowsやネットセレクター 2の設定によっては、LANケーブルが接続されたクレードルに接続したり、無線切り替えユーティリティで無線通信をオンにしたりするだけで、ネットワークに接続できる場合もあります。
- ネットセレクター 2では、ダイヤルアップ接続*9の起動は行いません。

2 画面右下の通知領域にある(ネットセレクター 2)を右クリックする。

3 [選択] をクリックし、接続したい登録済みのネットワーク名または作成した設定データをクリックする。

選択したネットワークの登録内容（IPアドレスや使用するプリンターなど）に切り替わります。
また、次の方法でもネットワークの設定を切り替えることができます。

① 画面右下の通知領域にある(ネットセレクター 2）をダブルクリックする。
② 「ネットセレクター 2（設定)」画面のネットワーク一覧に表示されている項目から接続したいネットワーク名を選択し、[選択] をクリックする。
③ [閉じる] をクリックする。

*8 クレードルに接続時のみ
*9 別売りの外付けモデムが必要です。

現在のネットワークの設定を確認する

現在のネットワークの設定を確認することができます。

1　画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[現在のネットワーク設定] をクリックする。

設定の表示に数秒程度かかる場合があります。

2　内容を確認し、[閉じる] をクリックする。

また、次の手順でも確認できます。

① 画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）をダブルクリックする。

②「ネットセレクター 2（設定)」画面の [メニュー] - [現在のネットワーク設定] をクリックする。

登録したネットワークの設定を変更/削除する

ネットセレクター 2 に登録したネットワークの設定内容を変更したり、プロバイダーを変更して使用しなくなったネットワークの設定を削除したりすることができます。

■ ネットワークの設定を変更する

1　画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定]をクリックする。

「ネットセレクター 2（設定)」画面は、 (ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示されます。

2　設定を変更したいネットワーク名をクリックし、[編集]をクリックする。

3　設定内容を変更し、[OK] をクリックする。

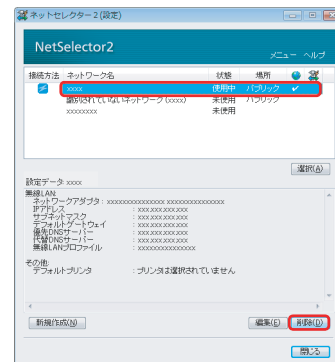
- 変更した設定内容が反映されます。
- 「識別されていないネットワーク」に対して複数の登録を行いたい場合は、[新規保存] をクリックしてください。

4　[閉じる]をクリックする。

■ ネットワークの設定を削除する

1 **画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示されます。

2 **削除したいネットワーク名をクリックし、[削除] をクリックする。**

3 **「設定データを消去してよろしいですか？」という画面で、[はい] をクリックする。**

4 **他の設定も削除する場合は、手順2〜3を繰り返す。**

5 **[閉じる]をクリックする。**

登録したネットワークの設定をバックアップ/復元する

ネットワークの設定を誤って変更した場合、ネットワークの設定を再び行うのは大変な作業です。
ネットセレクター 2 のエクスポートとインポート機能を使うと、ネットワークの設定をバックアップしたり、復元したりすることができます。個々に再設定する必要はありません。

お願い

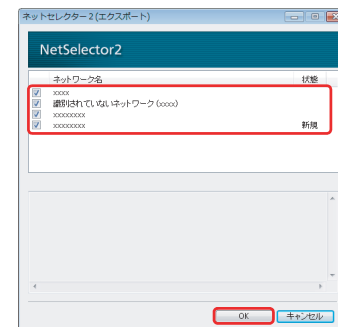
- 次のような場合に備えて、ネットワークの設定をバックアップしておくことをお勧めします。
  - パソコンの買い換えなどで、今まで使っていたパソコンのネットワーク設定をそのまま新しいパソコンで使いたいとき
  - Windows を再インストールするとき
  - 設定を誤って変更してネットワークに接続できなくなった場合など、元の設定に戻したいとき

■ ネットワークの設定をバックアップする

1 **画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2) を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2(設定)」画面は、(ネットセレクター 2)をダブルクリックしても表示できます。

2 **[メニュー] をクリックし、[エクスポート] をクリックする。**

3 **エクスポートする設定データをクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。**

4 **「名前を付けて保存」画面でファイル名を入力し、[保存] をクリックする。**

同じネットワーク名の設定データがある場合は、確認の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。
「ネットセレクター 2(設定)」画面に戻ります。

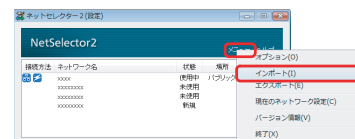
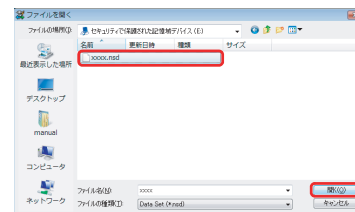
5 **[閉じる] をクリックする。**

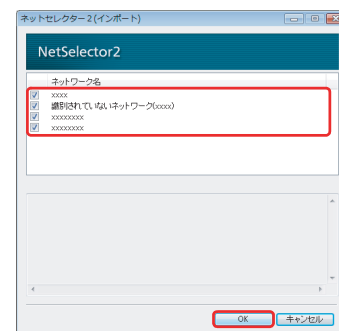
6 **手順4で保存したデータを、SDメモリーカードなどにコピーする。**

■ ネットワークの設定を復元する

1 **画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2) を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター２（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

2 **[メニュー] をクリックし、[インポート] をクリックする。**

3 **インポートするファイルを選択し、[開く] をクリックする。**

4 **インポートする設定データをクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。**

インポートしない設定データは、クリックしてチェックマークを外してください。
同じネットワーク名の設定データがある場合は、確認の画面が表示されます。
[OK] をクリックしてください。
「ネットセレクター２（設定）」画面にネットワークの設定が追加されます。

5 **[閉じる] をクリックする。**

お知らせ

- 復元する設定と同じ名前の設定がネットセレクター 2に登録されている場合は、復元する設定の名前に（2）、（3）と番号が自動的に割り当てられます。

復元したネットワークの設定を適用する場合は、「ネットワークの設定データを適用する」の手順 *1*（➔79 ページ）をご覧ください。

オプションの設定をする

ネットセレクター 2 のオプション画面では、ネットワークの設定を切り替えたときにお知らせを表示したり、有線 LAN で接続したときに無線 LAN を自動的に切断したりするなどの設定ができます。

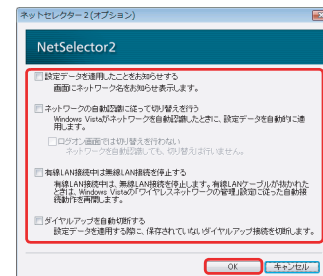
オプションは次の手順で設定します。

1　画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[オプション] をクリックする。

「ネットセレクター 2（オプション)」画面は、(ネットセレクター 2）をダブルクリックし、「ネットセレクター 2（設定)」画面の [メニュー] - [オプション] をクリックしても表示できます。

2　設定したい項目をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。

初期設定は、すべてオフに設定されています。
各項目の説明に従って、お使いの接続環境に合わせて設定してください。
オプションの設定は、登録されているすべてのネットワークの設定に適用されます。

- **ネットワークの設定が切り替わったことを知らせてほしい場合**
  [設定データを適用したことをお知らせする] をクリックしてチェックマークを付けてください。
  登録しているネットワークの設定に切り替えたとき、画面右下の通知領域にネットワーク名が表示され、設定が切り替わったことをお知らせします。
- **自動的にネットワークの設定を切り替えたい場合**
  - [ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    ネットセレクター 2 に登録しているネットワークを Windows が自動認識した場合、自動的に登録した内容を設定します。
    設定はネットワークの状況が変化したときに行われます。お使いの環境で頻繁にネットワークの状況が変化する場合、設定の切り替えが頻繁に発生してしまうことがあります。
    この機能は、ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。
  - [ログオン画面では切り替えを行わない] をクリックしてチェックマークを付けると、Windows 起動直後のログオン画面や、Windows からログオフした後に表示されるログオン画面では、登録された内容を自動で設定しません。
    ログオンしているユーザーがいる場合は、ログオン画面でも登録された内容が自動的に設定され、接続するネットワークの設定が切り替わります。

- **無線 LAN で接続中のネットワークに有線 LAN[*10] で接続したとき、自動的に無線 LAN を停止したい場合**
  - [有線 LAN 接続中は無線 LAN 接続を停止する] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    この機能は、「ネットワークと共有センター」の [ワイヤレスネットワークの管理] で [自動的に接続する] が設定されているワイヤレスネットワークに使用できます。
  - LAN ケーブルを接続したとき、無線 LAN を一時的に停止します。LAN ケーブルを抜いたとき、無線 LAN の接続を再開しようとします。
    無線 LAN の再構築については、ワイヤレスネットワークの「自動的に接続する」の設定が反映されます。
    「自動的に接続する」が無効になっている場合は、自動的に接続は再開されません。

  電波状態が悪い場合などは、無線LAN で同じネットワークに再接続されない場合があります。**ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみ、この機能をお使いください。**

- **ネットワークの設定を切り替えたときに自動的にダイヤルアップ接続[*11] を切断したい場合**
  - [ダイヤルアップを自動切断する] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    ネットワークの設定を切り替えたとき、設定にダイヤルアップ接続が登録されていない場合は自動的にダイヤルアップ接続を切断します。
    ただし、再度ダイヤルアップで接続する場合は、手動で接続する必要があります（自動的に接続は再開されません）。

[*10] クレードルに接続時のみ

[*11] 別売りの外付けモデムが必要です。

お願い

- 次の機能は、ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。
  - [ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う] 機能
  - [有線LAN接続中は無線LAN接続を停止する] 機能
- [有線LAN接続中は無線LAN接続を停止する] が設定されている場合
  - 無線LANの停止/再開はインフラストラクチャモードの無線LANに対して行われます。
- 次の場合、ネットワークの設定を手動で切り替えてください。
  - IPアドレスが固定アドレスの場合（[IPアドレスを自動的に取得する] に設定していない場合）
  - デフォルトゲートウェイアドレスを設定しないネットワークに接続する場合
  - 別々のネットワークに接続可能なアクセスポイントが利用可能な範囲にあり、現在使用中の無線LANのIPアドレスが固定アドレスに設定されている場合
- [ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う] にチェックマークが付いている場合
  - ネットワークの自動認識をより行いやすくするために、ネットワークが切断された際に、有線LANおよび無線LANのIPアドレスの設定を [IPアドレスを自動的に取得する] に変更する場合があります。
- 有線LAN/ 無線LANのネットワークアダプターがデバイスマネージャーで無効になっている場合は、登録された設定に切り替わりません。

パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）をすることができます。

準備

- パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードと AC アダプターをクレードルに接続してください。

セットアップユーティリティを起動する

1 **パソコンの電源を入れる、または再起動する。**

2 **[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。

スーパーバイザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- 次のようになります。
  - 「詳細」および「起動」メニューでは、項目の設定を変更することはできません。
  - 「セキュリティ」メニューでは、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合に、ユーザーパスワードのみ変更できます。ユーザーパスワードを削除することはできません。
  - 「終了」メニューでは、「デフォルト設定」および「デバイスを指定して起動」の設定はできません。
  - F9（工場出荷時の設定）は使えません。

情報メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

言語（Language）	English 日本語（Japanese）
製品情報 機種品番 製造番号 **システム情報** プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク **BIOS 情報** BIOS 電源コントローラー 累積使用時間 アクセスレベル	パソコン情報 （変更できません）

メインメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
システム日付 • 年／月／日 • Tab でカーソルの移動ができます。	[xxxx/xx/xx]
システム時間 • 24 時間制です。 • Tab でカーソルの移動ができます。	[xx:xx:xx]
メイン設定	
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。	外部ディスプレイ 内部 LCD
充電中バッテリー状態表示	点灯 明滅
環境	常温 高温 自動
バッテリー 1 の現在の状態 • 「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。
バッテリー 2 の現在の状態 • 「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。

詳細メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

CPU 設定	
データ実行防止機能	無効 有効
Hyper Threading Technology	無効 有効
Intel (R) Virtualization Technology	無効 有効
周辺機器設定	
レガシー USB	無効 有効
カメラ	無効 有効
▶ 無線設定	サブメニュー表示 [*1]
▶ シリアルポート設定 • GPS とバーコードリーダーの設定をします。	サブメニュー表示 [*2]

[*1] 以下のサブメニューは「無線設定」を選択すると表示されます。

無線 LAN	無効 有効
ワイヤレス WAN • ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
Bluetooth	無効 有効

[*2] 以下のサブメニューは「シリアルポート設定」を選択すると表示されます。

GPS • GPS 内蔵モデルのみ	無効 有効
バーコードリーダー	無効 有効

起動メニュー

起動オプション優先度	
起動オプション＃1	USB フロッピー [*3]
起動オプション＃2	ハードディスク
起動オプション＃3	USB ハードディスク
起動オプション＃4	USB CD/DVD ドライブ

■ 起動順位を変更するには

工場出荷時の設定は、次のようになっています。
「USB フロッピー [*3]」->「ハードディスク」->「USB ハードディスク」->「USB CD/DVD ドライブ」

- 変更したい起動機器の上で ↵ を押し、下記のメニューから起動機器を選択してください。
  - 選択した起動機器がすでに他の起動オプション (#1 ～ #4) にある場合は、新しい設定が優先され、重複した起動オプションと表示が入れ替わります。
  - 下記のメニューで「無効」を選択した場合は、その起動オプションを飛ばして次の起動オプションが有効になります。

USB フロッピー [*3]
ハードディスク
USB ハードディスク
USB CD/DVD ドライブ
無効

[*3] 当社製外部 FDD（品番：CF-VFDU03U）のご使用をお勧めします。

お知らせ

- 以下のデバイスから起動するには、下記のように設定してください。
  - USB 機器から起動するには、「詳細」メニューで「レガシー USB」を「有効」に設定をしてください。
    (➔ 96 ページ)

セキュリティメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

起動時の表示設定	
Setup Utility 表示 •「無効」にすると、[Panasonic] 起動画面に [Press F2 for Setup] というメッセージが表示されませんが、F2 と Del キーは働きます。	無効 有効
起動時のパスワード	無効 有効 *4
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示
ハードディスク保護 •「スーパーバイザーパスワード設定」を行っている場合のみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定 •「スーパーバイザーパスワード設定」を行っている場合のみ設定できます。	サブメニュー表示
▶ 内蔵セキュリティ（TPM）設定 • 詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。（スタート）をクリックし、[検索の開始] に「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、を押す。	サブメニュー表示
▶ 指紋認証セキュリティ	サブメニュー表示

*4 パソコン起動時に、パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードをクレードルに接続しておく必要があります。

終了メニュー

設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動する
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存せずに再起動する
保存オプション	
設定を保存する	設定内容を保存する
設定を戻す	設定内容を変更前の設定に戻す
デフォルト設定	工場出荷時の設定に戻す
デバイスを指定して起動	
（デバイス情報）	次回に起動するデバイスを選択する

ズームビューアー

画面の一部を拡大することができます。

ズームビューアーをインストールする

1 管理者のユーザーアカウントでログオンする。

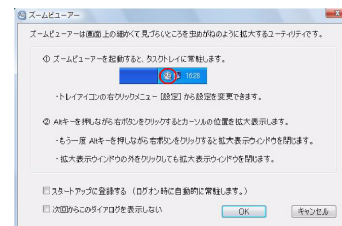
2 (スタート) をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥loupe¥setup.exe]と入力し、 を押す。

3 画面の指示に従ってインストールを行う。

ズームビューアーを起動する

1 (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ズームビューアー]をクリックする。

2 [OK]をクリックする。

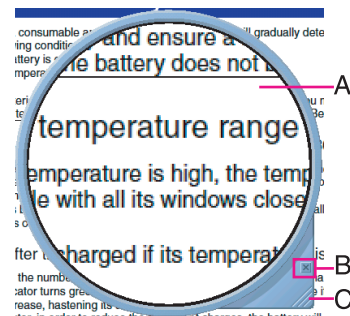
- 画面右下の通知領域に が表示されます。

ズームビューアーを使う

1 画面上の拡大したい部分にカーソル を合わせる。

2 をダブルクリックするか、 を右クリックし[表示する]をクリックする。

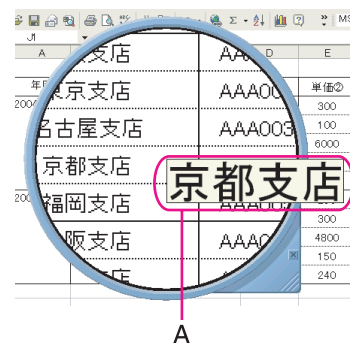
- カーソルを合わせた部分が拡大されます。

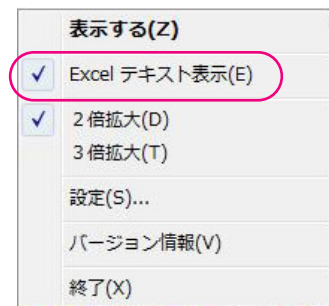
3 **拡大表示ウィンドウ（A）をドラッグして、拡大表示される部分を動かす。**

- 拡大表示ウィンドウを非表示にするには、（非表示ボタン）（B）をクリックしてください。
  または、拡大表示ウィンドウの範囲外でクリックしてください。
- 拡大表示ウィンドウのサイズを変更するには、右下の隅（C）をドラッグしてください。
  拡大／縮小できるサイズの範囲は、画面の解像度により異なります。

お知らせ

- 拡大表示ウィンドウの中のテキストや画像は、拡大表示された瞬間のものになります。元の画面で変更した内容を拡大表示ウィンドウに反映するには、拡大表示ウィンドウをクリックしてください。
- アプリケーションソフトによっては、ズームビューアーが働かない場合があります。

■ Excelのセルの文字を拡大表示するには

拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字を、テキスト表示ウィンドウ（A）に大きく表示することができます。

① 画面右下の通知領域の を右クリックする。

② [Excelテキスト表示]にチェックマークを付ける。
- 工場出荷時はチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すと、テキスト表示ウィンドウは表示されません。

お知らせ

- 次の場合、テキスト表示ウィンドウは表示されません。
  - お使いのExcelが、Microsoft® Excel 2000／Microsoft® Excel 2002／Microsoft® Office Excel 2003よりも前のバージョンの場合
    （上記よりも前のバージョンには対応していません。）
  - セル以外（テキストボックス、コメント、グラフなど）の文字の場合
  - 印刷プレビュー画面の場合
  - テンプレートを使用してファイルを新規作成し、そのファイルを保存していない状態（保存するとテキスト表示ウィンドウが表示されます。）
- 複数のウィンドウで、同じ名前のファイルを開いているときは、テキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。また、ファイルによってもテキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。
- テキスト表示ウィンドウで表示される文字は、1番手前に表示されているExcelファイル（選択されているExcelファイル）の拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字です。
- セルからはみ出した文字上にカーソルがあった場合は、テキスト表示ウィンドウは表示されません。はみ出した文字が格納されているセル上にカーソル（拡大表示ウィンドウの中央部分）を移動させてください。

ズームビューアーを設定する

1　画面右下の通知領域のを右クリックする。

2　[設定]をクリックする。

[表示／非表示のショートカットキーの割り当て]

- 外部マウスを使用するとき

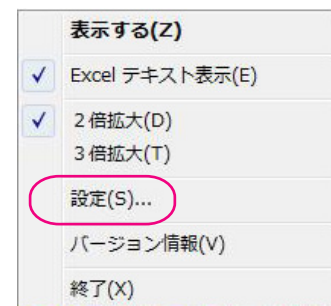
① [マウス／タッチパッド]をクリックする。

② Alt、Ctrl、Shiftの中から組み合わせるキーをクリックし、チェックマークを付ける。（複数キーの組み合わせが可能です。例：Ctrl+Alt）

③ [右クリック]または[左クリック]のいずれかのうち、上記の手順②で選択したキーと組み合わせて使うものを選択してください。

- 外部キーボードを使用するとき

① [キーボード]をクリックする。

② エディットボックスをクリックし、ショートカット用に使うキーを押す。
（例：Alt + Z、Ctrl + Alt + Zなど）

[ウインドウデザイン]
拡大表示ウィンドウの形を選択します。

[起動]
ズームビューアーの自動起動と説明ウィンドウのオン／オフを切り替えることができます。

[デフォルト]
クリックすると工場出荷時の設定に戻ります。

3　[OK]をクリックする。

ハードウェアの自己診断機能

本機のハードウェアが正常に動作していない可能性がある場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って診断することができます。
ハードウェアに問題が発見されたときは、当社のご相談窓口にご相談ください。
このユーティリティでは、ソフトウェアは診断できません。

準備

- パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードとマウス、AC アダプターをクレードルに接続してください。

PC-Diagnostic ユーティリティで診断できるハードウェア

下記のハードウェアを診断することができます（ソフトウェアを診断することはできません）。

- CPU/System （CPU のチェック）
- RAM XXX MB（メモリーのチェック）
- HDD XXX GB（ハードディスクのチェック）
- Video（ビデオコントローラーのチェック）
- サウンドコントローラー [*1]
- 無線 LAN 機能
- ワイヤレス WAN 機能 [*2]
- Bluetooth 機能
- GPS 機能 [*3]
- タッチパネル

[*1] 診断中に、大きなビープ音が鳴ります。（Windows メニューで音声をオフにしている場合は、ビープ音は鳴りません。）

[*2] ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ

[*3] GPS 内蔵モデルのみ

- ビデオコントローラー診断の実行中に、画面が乱れることがあります。また、サウンドコントローラー診断の実行中に、スピーカーから音が出ることがあります。いずれも故障ではありません。

PC-Diagnostic ユーティリティについて

お知らせ

- ハードディスクドライブとメモリーについては、標準診断と拡張診断のいずれかを選択できます。
  PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、標準診断がスタートします。
- デュアルタッチを使って PC-Diagnostic ユーティリティを操作することはできません。

操作内容	外部マウス操作	外部キーボード操作
アイコンを選ぶ。	アイコンの上にカーソルを置く。	Space を押し、→ ← ↑ ↓ を押す（☒（閉じる）は選択できません）。
アイコンをクリックする。	クリックする（右クリックは使えません）。	アイコンの上で Space を押す。
PC-Diagnostic ユーティリティを終了し、パソコンを再起動する。	☒（閉じる）をクリックする。	Ctrl + Alt + Del を押す。

診断を実行する

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の状態に戻して診断を実行してください。
セットアップユーティリティまたはその他の設定でハードウェアが無効になっていると、そのハードウェアのアイコンがグレー表示されます。

1 AC アダプターを接続する。

診断が完了するまで、AC アダプターを取り外したり、周辺機器を取り付けたりしないでください。

2 パソコンの電源を入れるか再起動し、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。

セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- セットアップユーティリティを工場出荷時の設定から変更している場合は、設定をメモしておくことをお勧めします。

3 F9 を押す。

確認メッセージで「はい」を選び、↵ を押してください。

4 F10 を押す。

確認メッセージで「はい」を選び、↵ を押してください。
パソコンが再起動します。

5 [Panasonic] 起動画面が表示されている間に、Ctrl + F7 を押す。

PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、すべてのハードウェアの診断が順番に始まります。

- パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
- 画面に触れないでください。
- ハードウェアアイコンの左側（A）が青色と黄色に交互に点滅し始めるまで、外部キーボードは使えません。

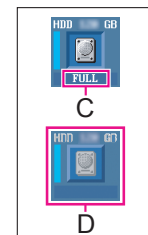
- 画面上のアイコンをクリックして、次の操作をすることができます。
  - ▷ ：診断を最初から実行する。
  - □ ：診断を中止する。（▷ をクリックしても、途中から再開することはできません。）
  - i ：ヘルプを表示する。（画面をクリックするか、Space を押すと元の画面に戻ります。）
- 診断状況は、ハードウェアアイコンの左側（A）の色で確認できます。
  - 水色：診断を実行していません。
  - 青色と黄色が交互に点滅：診断を実行中です。点滅の間隔は、標準診断か拡張診断かにより異なります。メモリー診断の場合は、画面が長い間停止状態になる場合があります。診断が終了するまでお待ちください。
  - 緑色：問題は見つかりませんでした。
  - 赤色：問題が見つかりました。

お知らせ

- 以下の手順で、特定のハードウェアの診断を実行したり、ハードディスクやメモリーの拡張診断を実行したりすることができます。（拡張診断はハードディスクとメモリーのみ）拡張診断は詳細な診断を行うため、終了するまで時間がかかります。

① □ をクリックして診断を中止する。

② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックし、グレー表示（B）させる。
ハードディスクまたはメモリーの診断を実行しているときは、アイコンを一度クリックすると拡張診断（「FULL」（C）がアイコンの下に表示されます）になりますので、再度クリックしてアイコンをグレー表示（D）させてください。

③ ▷ をクリックして診断を開始する。

6 **すべてのハードウェアの診断が終わったら、診断結果を確認する。**

表示の色が赤色になり、「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、ハードウェアに問題があると考えられます。赤色のハードウェアを確認し、ご相談窓口にご相談ください。
表示の色が緑色になり、「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、ハードウェアは正常に動作しています。そのままパソコンをお使いください。それでもパソコンが正しく動作しない場合は、ソフトウェアを再インストールしてください。（『取扱説明書』の「再インストールする」を参照してください）

7 **☒（閉じる）をクリックするか、Ctrl + Alt + Del を押してパソコンを再起動する。**

[Windows Complete PC バックアップと復元] および [システム回復オプション] を使うことで、ハードディスク全体のバックアップを作成したり、パソコンが動作しなくなったときにハードディスク全体を復元することができます。

本機能の使用により生じたお客さまの損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

ハードディスクをバックアップする

ハードディスク全体のバックアップを別の記憶媒体（例：外付けハードディスク）に作成するには [バックアップ コンピュータ] を使用します。ファイルまたはフォルダーのバックアップを作成するには [バックアップファイル] を使用します。
また「バックアップと復元センター」では、ファイルやフォルダー単位でもバックアップが行えます。
詳しい方法を確認するには、（スタート）- [コントロールパネル] - [バックアップの作成] をクリックしてください。

お知らせ

- AC アダプターを接続し、バックアップが完了するまで取り外さないでください。
- デュアルタッチ操作は使用できません。

ハードディスクを復元する

お知らせ

- 以下の操作は、お買い上げ後に初めて電源を入れたときや再インストール直後には行えません。一度 Windows を起動／終了させると操作可能になります。
- AC アダプターを接続し、バックアップが完了するまで取り外さないでください。

準備

- 以下を準備してください。
  - Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROM（付属）
  - USB CD/DVD ドライブ（別売り）（推奨ドライブについては、最新のカタログなどをご確認ください。）
  - パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードをクレードルに接続してください。
- すべての外部機器（CD/DVD ドライブと外部キーボード以外）を取り外してください。
- AC アダプターを接続し、復元が完了するまで取り外さないでください。
- 以下の操作には外部キーボードとマウスを使ってください。

1 **パソコンの電源を切り、CD/DVD ドライブをクレードルの USB ポートに接続する。**

2 **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

- セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

3 **セットアップユーティリティの内容を書き写し、F9 を押す。**

- 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。

4 **F10 を押す。**

- 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。
- パソコンが再起動します。

5 **[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

6 **Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROM を CD/DVD ドライブにセットする。**

7 **「終了」メニューの「デバイスを指定して起動」で、接続した CD/DVD ドライブを選ぶ。**

8 **↵ を押す。**

- パソコンが再起動します。

9 **[システム回復オプションを起動する] を選び、[次へ] をクリックする。**

10 **画面の指示に従って操作する。**

ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコンを廃棄または譲渡する場合には、データが流出しないよう、ハードディスクのデータをすべて消去してください。通常の Windows メニューでデータの消去やハードディスクの初期化を行った場合でも、特殊なソフトウェアを使うと、消去されたデータが読み出される可能性があります。ハードディスクデータ消去ユーティリティを使って、データをすべて消去してください。
市販のソフトウェアをアンインストールせずに譲渡すると、ソフトウェア使用許諾契約に違反するおそれがありますのでご注意ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティでは、データを上書きする方法を用いていますが、誤動作や誤操作が起こると、データが完全に消去されない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性があります。非常に機密性の高いデータを消去する必要がある場合には、専門業者に依頼することをお勧めします。また、このユーティリティの使用により生じた損失や損害については補償いたしかねます。

お願い

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けのハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷したハードディスクのデータは消去できません。

お知らせ

- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- デュアルタッチ操作は使用できません。

準備

- 以下を準備してください。
  - Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROM（付属）
  - USB CD/DVD ドライブ（別売り）（推奨ドライブについては、最新のカタログなどをご確認ください。）
  - パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードとマウスをクレードルに接続してください。
- すべての外部機器（CD/DVD ドライブと外部キーボード以外）を取り外してください。
- AC アダプターを接続して、操作が完了するまで取り外さないでください。
- 以下の操作には外部キーボードとマウスを使ってください。

1. **パソコンの電源を切り、CD/DVD ドライブをクレードルの USB ポートに接続する。**
2. **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**
   セットアップユーティリティが起動します。
   - パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

3 **F9 を押す。**

- 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、↵ を押してください。

4 **プロダクトリカバリー DVD-ROM を CD/DVD ドライブにセットする。**

5 **「終了」メニューの「デバイスを指定して起動」で、接続した CD/DVD ドライブを選ぶ。**

6 **↵ を押す。**

パソコンが再起動します。

- 以下の操作中にパスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

7 **[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する] を選び、[次へ] をクリックする。**

8 **確認のメッセージで「はい」をクリックする。**

9 **[実行する] をクリックする。**

10 **再度 [実行する] をクリックする。**

11 **[はい] をクリックする。**

ハードディスクのデータ消去が始まります。

12 **終了のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROM を取り出し、[OK] をクリックする。**

エラーコード／メッセージ

エラーコードやメッセージが表示された場合は、下記の対処の説明に従ってください。それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対処
システム CMOS 値が正しくありません。 **システム CMOS のチェックサムが正しくありません。**	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、メモリーの内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
日付と時刻の設定が正しくありません。01/01/2009 に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
<F2> **キーを押すとセットアップを起動します。**	● エラー内容をメモした後、パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードと AC アダプターをクレードルに接続し、 F2 または Del を押してセットアップユーティリティを起動してください。必要に応じて設定を変更してください。（➔ 93 ページ）

ネットワーク接続と通信ソフトウェアについて

省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。

- 通信ソフトウェアを使用中に省電力機能（スリープや休止状態）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下することがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- ネットワーク環境でお使いのときは、「コンピュータをスリープ状態にする」と「次の時間が経過後休止状態にする」を [なし] に設定することをお勧めします。（➔ 20 ページ）

Windows 関連ファイルについて

Windows Vista DVD-ROM に収録された Windows 関連ファイルは、下記のフォルダーにインストールされています。

c:¥windows¥support¥migwiz、c:¥windows¥support¥tools

トラブルが発生した場合は、以下の方法をお試しください。以下の方法でも解決しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。ソフトウェアに関する問題は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

- パソコンの使用状態を確認するには（➔ 124 ページ）

■ 終了時

Windows の終了または再起動ができない。	● USB 機器を取り外してください。 ● 終了するまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。

■ スリープ・休止状態

スリープまたは休止状態に入ることができない。	● USB 機器をいったん取り外してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● スリープ・休止状態に入るまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。 ● リジューム直後はスリープ・休止状態には入りません。約 1 分間お待ちください。
スリープまたは休止状態に自動的に入らない。	● 外部機器を取り外してください。 ● 無線 LAN 機能を使ってネットワークに接続しているときは、アクセスポイントの設定を実行してください。（➔ 68 ページ）無線 LAN 機能を使っているときに、スリープまたは休止状態に入るには、「スリープ・休止状態に入る」（➔ 18 ページ）をご参照ください。 ● 無線 LAN 機能を使わない場合は、無線 LAN 機能の電源を切ってください。（➔ 67 ページ） ● ハードディスクに定期的にアクセスするソフトウェアまたは CPU に負荷がかかるソフトウェアを使っていないか確認してください。

■ ディスプレイ

ディスプレイに「電源オプション」画面が表示されるのに時間がかかる。	● 次の手順を実行し、省電力設定ユーティリティにより「パナソニックの電源管理のコピー」が 100 個以上作成されていないか確認してください。 ① 画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。 ② 「追加のプランを表示します」をクリックする。 [パナソニックの電源管理のコピー] が 1 件以上表示されたときは、削除する電源プランを選んで [プラン設定の変更] - [このプランを削除] をクリックし、削除してください。

■ サウンド

音が聞こえない。	● 画面右下の通知領域のまたはをクリックし、音量を変えてください。 ● パソコンを再起動してください。
音が乱れる。	● 再生をいったん停止し、再生し直してください。
ログオン時（パソコンのリジューム時など）に音がひずむ。	● 次の手順を実行し、サウンド設定を変更して音声出力を停止してください。 ① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。 ② [Windows スタートアップのサウンドを再生する] のチェックマークを外す。

■ 文字入力

日本語が入力できない。	● MS-IME の言語バーで、入力モードを [ひらがな] にしてください。
特殊文字（ß、à、ç など）や記号が入力できない。	● 文字コード表を使ってください。（スタート）- [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システム ツール] - [文字コード表] をクリックしてください。
Tablet PC 入力パネルのスクリーンキーボードで **Shift** キーなどを使った操作（例：**Shift** + **C**）ができない。	● スクリーンキーボードでは、**Shift** を押しながら **C** を押すのではなく、**Shift** を押した後、**C** を押してください。**Ctrl**、**Alt** も同様です。

■ ネットワーク

ネットワークに接続できない。	● LAN を設定してください。（➔ 63 ページ）
パソコンの MAC アドレスが確認できない。	● 次の手順を行ってください。 ① （スタート）- [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンド プロンプト] をクリックする。 ②「getmac /fo list /v」と入力し ↵ を押す。 ● “c” と “/fo” の間、“fo” と “list” の間 , “list” と “/v” の間にはそれぞれスペースを挿入してください。 ③ 無線 LAN の MAC アドレス： 「Intel(R) Wireless WiFi Link 5100 AGN」の「物理アドレス」と表示された行の 12 けたの英数字をメモする。 LAN の MAC アドレス： 「HighSpeed USB-Ethernet Adapter」の「物理アドレス」と表示された行の 12 けたの英数字をメモする。 ④「exit」と入力し ↵ を押す。

■ ネットワーク

LAN の通信速度が極端に遅くなる。 無線 LAN が切断される。	● 次の設定をしてみてください。 （スタート）- [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックし、[高パフォーマンス] を選択してウィンドウを閉じる。

■ 無線通信

ネットワークに接続できない。	● セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューで、「無線 LAN」、「Bluetooth」または「ワイヤレス WAN」を「有効」に設定してください。（➔ 96 ページ） ● パソコンを再起動してください。
無線 LAN のアクセスポイントが検出されない。	● パソコンとアクセスポイントとの距離を近づけて、再度検出してください。 ● 次の設定を確認してください。 • セットアップユーティリティの「詳細」-「無線設定」メニューの「無線 LAN」が「有効」になっていることを確認してください。（➔ 96 ページ） • 無線切り替えスイッチユーティリティで無線 LAN が「オン」になっていることを確認してください。（➔ 64 ページ） ● IEEE802.11b/g のとき、本機は 1 ～ 11[*1] チャンネルを使用します。そのチャンネルがアクセスポイントで使用されているかどうか確認してください。 *1 無線接続を行う場合、使用される周波数帯域をセグメントに分割し、各帯域セグメントを用いて別個の接続を行うことができます。「チャンネル」とは分割された個々の周波数帯域幅を言います。

■ 周辺機器を接続する

ドライバーのインストール中にエラーが発生する。	● カードや周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OS に対応していることをご確認ください。未対応のドライバーを使用すると、誤動作につながる場合があります。ドライバーについては、周辺機器の製造元にお問い合わせください。

■ 周辺機器を接続する

周辺機器が動作しない。	● クレードルを使う場合、AC アダプターをクレードルの電源端子に接続してください。 ● ドライバーをインストールしてください。 ● 機器の製造元にお問い合わせください。 ● スリープ・休止状態からリジュームした後、マウスなどが正しく動作しないことがあります。その場合はパソコンを再起動するか、機器を再度初期化してください。 ● デバイスマネージャで ⚠ が表示される場合は、機器を抜き挿ししてください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● 機器の中には、パソコンが取り付け／取り外しを認識しなかったり、正常に動作しなかったりするものがあります。 次の操作を行ってください。 ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ] をクリックする。 ● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 ② 該当の機器を選択し、[電源の管理] の [電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする] のチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。）
USB フロッピーディスクドライブが、起動ドライブとして動作しない。	● ご使用のフロッピーディスクドライブによっては、正常に起動しない場合があります。フロッピーディスクからの起動は、当社製外部 FDD（品番：CF-VFDU03U）で動作を確認しています。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「レガシー USB」を「有効」に設定してください。（➔ 96 ページ） ● セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「起動オプション #1」を「USB フロッピー」にしてください。（➔ 97 ページ） ● パソコンの電源を切り、USB フロッピーディスクドライブを接続後、パソコンを再起動してください。
割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなどのアドレスマップがわからない。	● 次の手順で確認することができます。 ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ] をクリックする。 ● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。 ② [表示] - [リソース (種類別)] をクリックする。

■ デュアルタッチ

付属のデジタイザーペンで正しい位置を指定できない。	● 補正（キャリブレーション）を実行してください（➔ 7 ページ）。

■ 指紋センサー

指紋の登録・認証ができない。	● 指を正しくスライドさせてください。登録と認証について詳しくは、「指紋センサーを使うには」（➔ 45 ページ）または「指紋チュートリアル」をご覧ください。 • （スタート）- [すべてのプログラム] - [Protector Suite QL] - [指紋チュートリアル] をクリックする。 ● 指の状態が以下のような場合は、指を正しくスライドさせても登録・認証ができなかったり、正しく認証されなかったりすることがあります。 • 皮膚が荒れていたり、切り傷や皮膚炎がある • 極度に乾燥している • 泥や油で汚れている • 指紋が摩耗して溝が浅くなっている • 水にぬれている、または湿っている < 以上のような状態の場合は、次の処置で改善することができます > • 手を洗ったりふいたりする • 登録・認証に別の指を使う • 皮膚が荒れたり乾燥している場合は、ハンドクリームで手入れをする ● 指紋センサーをきれいにしてください。詳しくは「指紋センサーの取り扱いについて」（➔ 52 ページ）をご覧ください。 ● 上記の方法を行っても改善されない場合は、指紋センサーに不具合がある場合があります。ご相談窓口にご相談ください。

■ 指紋センサー

指紋センサーが動作しない。	● センサーを交換するときは、エクスポートしたパスポートが役に立ちます。 • 管理者のユーザーアカウントでログオンする。 Windows のログオンパスワードを使って常にパソコンにアクセスできます。 便利モードでは、どのユーザーもそれぞれのログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。 • [File Safe] にアクセスするには [File Safe] は、[File Safe] バックアップパスワードを使ってアクセスできます。 • その他の機能 センサーの交換／取り外しは「指紋センサーの交換」の説明に従ってください。（➔ 121 ページ） いくつかの機能（パスポートの削除など）はセンサーなしで行えます。削除操作の場合は、パスワードダイアログを出すために、指紋認証操作をキャンセルする必要があります。

■ 指紋センサー

指紋を登録できない。（けがなど）	● このような問題を避けるために、少なくとも2つの指紋を登録しておくことをお勧めします。複数の指紋を登録してある場合は、使用できる指を使ってください。指紋登録が1つしかない場合は、[指紋の登録、または編集] を使って追加の指紋を登録することをお勧めします。 登録した指がどれも使えない場合は、以下の操作を行ってください。 ① 管理者のユーザーアカウントでログオンする。 Windows のログオンパスワードを使って常にパソコンにアクセスできます。便利モードでは、どのユーザーもそれぞれのログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。 ② 登録した指紋をアップデートする。 Protector Suite QLの機能をすべて使うには、使用できる指紋登録を持っていることが必要です。[指紋の登録、または編集] 画面に入ってください。 • [拡張セキュリティ] を使っていない場合は、Windowsのパスワードを使って入ることができます。 • [拡張セキュリティ] をバックアップパスワードで使っている場合は、バックアップパスワードで入ることができます。 • [拡張セキュリティ] をバックアップ・パスワードなしで使っている場合は、異なる指紋を追加する他の方法はありません。この場合は、指が再び使えるようになる（傷が治るなど）まで待つか、パスポートを削除（[削除] 使用）して、新しい指紋を登録し直すことをお勧めします。 パスポートを削除した場合は、保存されたすべてのシークレットデータ（パスワード、[File Safe] 、暗号化キー）が消失しますのでご注意ください。削除操作を行うには、パスワードダイアログを出すために指紋認証操作をキャンセルすることが必要です。そしてWindowsのログオンパスワードを入力してください。 • [File Safe] にアクセスするには 手順②を行っていない場合は、[File Safe] バックアップパスワードを使って [File Safe] にアクセスできます。

■ 指紋センサー

TPM が使えない。	● TPM（内蔵セキュリティチップ）と一緒に[拡張セキュリティ]を使用している場合に、TPMが損傷または削除されたり、無効になったりしている場合、[拡張セキュリティ]は動作しません。 [拡張セキュリティ]バックアップパスワードを使用しない場合は、「所有者データの再登録」を行ってください（➔ 55ページ）。[拡張セキュリティ]バックアップパスワードを使用する場合は、以下の手順を行ってください。 ① バックアップパスワードを使って、[指紋の登録または編集] ウィザードへ入る。 ② [拡張セキュリティ]を無効にし、終了する。 ③ TPMを修理し有効にした後（またはその内容を削除しただけの場合）、指を使って[指紋の登録または編集]ウィザードへ再び入り、再びTPMと[拡張セキュリティ]を有効にする。
指紋センサーの交換	● 指紋センサーを交換する必要がある場合は、以下の作業を行ってください。 ハードディスクへの登録： [ハードディスクへの登録] に設定してある場合は、[Protector Suite QL] はデバイス上にどのデータも保存していませんので、センサーを交換した後も問題ありません。しかし、パワーオンセキュリティ（リブート認証）を使っている場合は、[指紋の登録、または編集] を使って関係データをアップデートすることが必要になる場合があります。 デバイスへの登録： 指紋がデバイスに登録されている場合は、新しいパスポートを要求されます。「所有者データの再登録」（➔ 55ページ）を行ってください。
[拡張セキュリティ] のバックアップパスワードを消失した。	● [指紋の登録、または編集] で指をスキャンし、指紋登録をしてください。[拡張セキュリティ] でバックアップパスワードを変更することができます。
Protector Suite QL の再インストール	● Protector Suite QL をアンインストールしている間に、パスポートを含む Protector Suite データを消去する／しないを選択できます。 ● 製品の再インストールをしたい場合、Protector Suite QL データをパソコンに残すボタンを選んでください。インストールの後、再びデータを使用することができます。 ● パスポートを含む Protector Suite QL をアンインストールしても、指紋をデバイスに登録している場合、指紋は削除されませんので再インストール後に再登録することができます。 指紋データの登録場所を変えたい場合は、Protector Suite QL の再インストールが必要です。

■ 指紋センサー

[File Safe] のバックアップパスワードを消失した。	● [File Safe] バックアップパスワードを変更する必要があります。ソフトウェアのヘルプ（➔ 46 ページ）をご覧ください。
Protector Suite QL をアンインストールした後に [File Safe] にアクセスしたい。	● [File Safe] データへは Protector Suite QL を使ってのみアクセスできます。誤って Protector Suite QL をアンインストールした場合は、再インストールの必要があります。アンインストールの間にパスポートを取り除かなかった場合は、[File Safe] を含むすべてが自動的に働きます。アンインストールの間にパスポートデータを取り除いた場合は、[File Safe] はインストールが変わったことを認識して、代わりにバックアップパスワードの使用を提示します。
パソコンがクラッシュした後に [File Safe] にアクセスしたい。	● エクスポートしたパスポートを持っている場合は、すぐにインポートすると、指紋を使って [File Safe] にじかにアクセスできるようになります。または、[File Safe] バックアップパスワードを使って [File Safe] にアクセスできます：[File Safe] はインストールが変わったことを認識して、代わりにバックアップパスワードの使用を提示します。
指紋センサーからデータを消去したい。	●「デバイスへの登録」に設定した場合、パスポートデータはデバイスに保存されます。それを消去するには、[削除] で既存のパスポートを消去し、さらに [指紋デバイス内データ管理] を使って残りの指紋（前のインストールから残っているなど）を消去します。 ● 便利モードでは、[指紋デバイス内データ管理] は既存のパスポートを残すために最新の指紋データを消去させないようになっており、ユーザー個人の指紋のみ消去できます。従ってまずはパスポートを消去することが必要です。

■ バーコードリーダー

読み取りができない。	● バーコードに傷や汚れがないか確認してください。 ● バーコードが仕様にあっているか確認してください。 ● バーコードと本機の距離を調整してください。 大きいバーコードを読み取るときは遠くから、小さいバーコードやバーが細いバーコードを読み取るときは近くから操作してください。

■ ユーザー簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない。	● ユーザーの簡易切り替え機能を使用して別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。ユーザーの簡易切り替え機能を使うことはあまりお勧めできません。 • アプリケーションソフトが正しく動作しない。 • 画面の設定ができない。 • 無線 LAN が使えない。 • Bluetooth が使えない。 このような場合は、ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにすべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ その他

Windows の起動と動作が遅い	● セットアップユーティリティの設定（パスワードを除く）を工場出荷時の設定に戻す場合は、セットアップユーティリティ（➔ 93 ページ）の中で **F9** を押し、再度、セットアップユーティリティの起動と設定を行ってください。（Windows の動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。） ● お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。 ● Windows Aero を切ったとき、動画ファイルが遅くなることがあります。ポップアップメニューと入力パネルタブを無効に設定してください。 ① 入力パネルを開き、[ツール] - [オプション] - [開き方] をクリックする。 ② [入力パネル タブを表示する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする。
応答がない。	● [ ] ボタンを押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れています。**Alt** + **Tab** で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを 4 秒以上押してパソコンの電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。Windows が正しく動作しているにも関わらずアプリケーションが起動しない場合は、 （スタート）- [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] をクリックし、そのアプリケーションソフトをいったん削除してから再度インストールしてください。

パソコンの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。BIOS のバージョンやインストールされているアプリケーションソフトやドライバーの名称などが確認でき、お問い合わせ時にも役立ちます。

お知らせ

- 本機では、ハードディスクなどの管理情報がハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1 回あたり最大 1024 バイトです。これらの情報は、万が一、ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。
  この機能を無効にするには、PC 情報ビューアーの [ハードディスク使用状況] の [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。
- 実行中は、PC 情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。
- ネットワーク環境によっては、PC 情報ビューアーが起動するのに時間がかかる場合があります。

1 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [PC 情報ビューアー] をクリックする。**

2 **項目をクリックして、その項目の詳細情報を表示する。**

■ 情報をテキストファイルで保存する

1 **保存したい情報を表示する。**

2 **[保存] をクリックする。**

3 **ファイル保存する範囲を選択し、[OK] をクリックする。**

4 **情報を保存するフォルダーを選択し、ファイル名を入力して [保存] をクリックする。**

- [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] になっていない場合は、記録済みの履歴も保存されます。

■ 画面のコピーを画像ファイルで保存する

1 **保存したい画面を表示する。**

2 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [画面コピー] をクリックする。**

3 **メッセージが表示されたら [OK] をクリックする。**
[ドキュメント] フォルダーに画面の画像ファイルが保存されます。

お知らせ

- 画像は 256 色のビットマップファイルです。
- 拡張デスクトップモード（➔ 62 ページ）を使用しているときは、プライマリーデバイス側に表示している画面が保存されます。
- パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードをクレードルに接続しているときは、キーボードの操作で画面を保存することもできます。工場出荷時は、コピーするキーの組み合わせは Ctrl + Alt + F7 になっています。次の手順で変更することもできます。
  ① 管理者のユーザーアカウントで Windows にログオンする。
  ② （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] をクリックする。
  ③ [画面コピー] を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット] をクリックする。
  ④ [ショートカット キー] にカーソルを置き、ショートカットに使うキーを押す。
  ⑤ [OK] をクリックする。
  ⑥「アクセス拒否」画面で [続行] をクリックし、「ユーザーアカウント制御」画面で [続行] をクリックする。

- Microsoft とそのロゴ、Windows 、Windows Vista、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Core、PROSet は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Bluetooth™ は、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- 本書に記載の製品名、ブランド名などは、各社の商標または登録商標です。

PCJ0255I_V